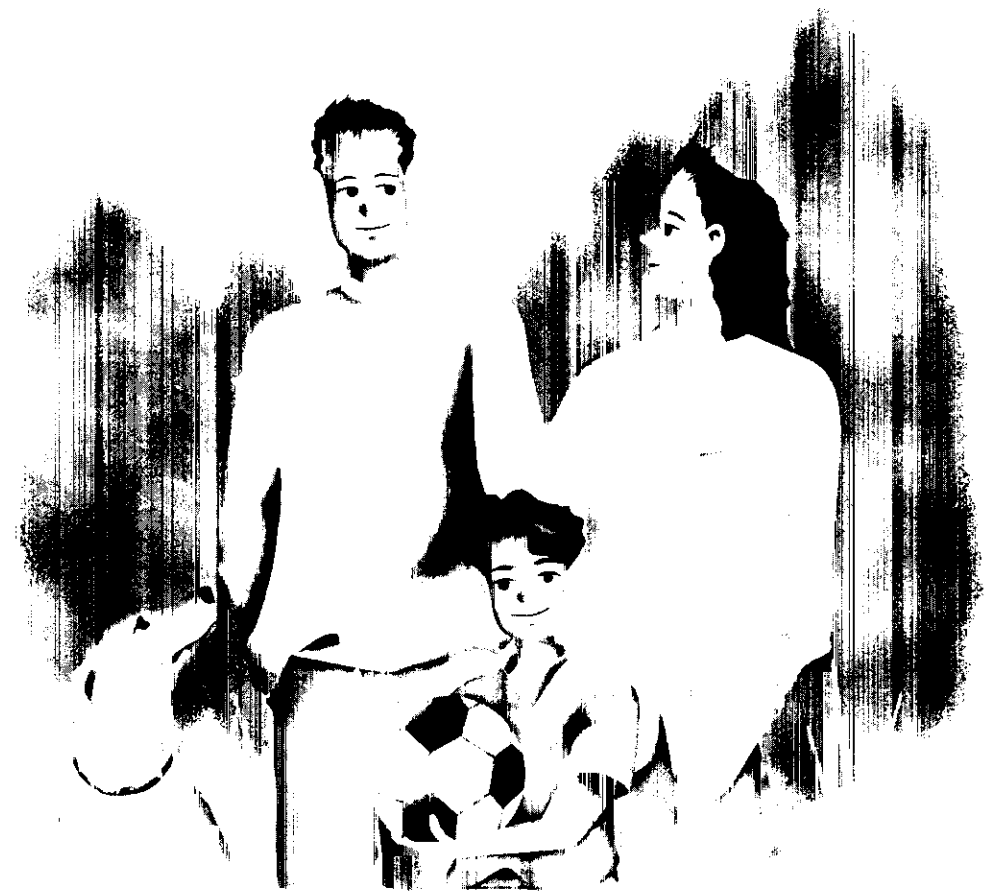


日立ビデオカセットレコーダー

ハイファイ Hi-Fi VHS VIDEOplus+

V-HF3形



愛情点検



●長年ご使用のビデオの点検をぜひ！

●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

このようなことは
ありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名

電話 () —

ご購入年月日 平成 年 月 日

製品番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。



この取扱説明書の見かた



重要
必ずお読みください。
操作の前に知っておいていただきたい重要事項です。

このページの概要

テープを見る(再生)

テープに録画した番組をテレビで見ることを、「再生」といいます。

注意 冬など寒い時期は、十分に部屋の温度になじませてからテープを入れて再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。

操作前の準備

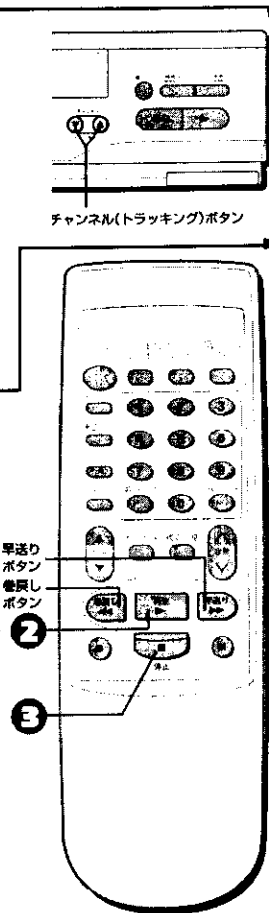


テレビでの操作を示します。



ビデオでの操作を示します。

操作手順



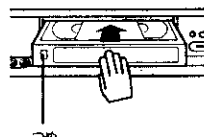
リモコン番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じなまへのボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。

再生する



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 録画したテープを入れる



- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど、「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間表示されます。

2 再生ボタンを押す

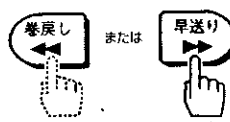


- 再生が始まります。

3 再生をやめるときは停止ボタンを押す



テープを早送りまたは巻戻したいとき
停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す



ボタンを押すことを示します。

お知らせ
このページの操作に関連するお知らせです。

インデックス
色が濃くなっているところがこのページが入っている章です。

タイトル

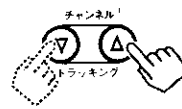
テープを見る(再生)

見る・録る

- テープによっては、再生を始めてオートトラッキング機能が働いたとき、ノイズの入った画像や音が出る場合があります。オートトラッキング調節が終わるとノイズは消えます。
- オートトラッキング調節が終わるとノイズは消えます。
- 高速の早送りまたは巻戻しときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは通常の早送り/巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

再生画像にノイズが出る時(トラッキング調節)

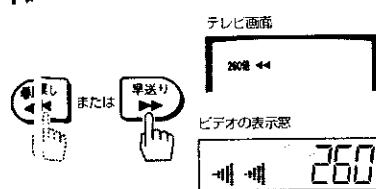
再生中に、ビデオ本体のチャンネル(トラッキング)ボタンを押す



- もっとも画像がきれいになるように、チャンネル(トラッキング)ボタンを押して調節してください。
- リモコンのチャンネルボタンでも調節できます。

テープを高速(260倍速)で早送りまたは巻戻しする

早送りまたは巻戻しボタンを押したあともう一度早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 高速の早送りまたは巻戻し中に早送りまたは巻戻しボタンを押すと、通常の早送り/巻戻しの速さに戻ります。

お知らせ

オートトラッキングについて

- 再生を始めると、オートトラッキング機能が働いて、画面がきれいになるように自動的に調節します。
- 次のようなテープでは、オートトラッキング機能が正常に働かないことがあります。
 - 一傷がついたテープ
 - 一録画状態の悪いテープ
 - 一本機以外で録画したテープ

オート機能について

- テープを最後まで再生するとテープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)
- テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

音声について

- 二重音声番組を再生するときは、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(49ページ参照)。

簡易再生(SQP)について

- S-VHS方式で録画したテープを簡易的に再生できます。

25

インデックス

【はじめに】
ビデオをお使いになる前に知っておいていただきたい内容を説明しています。

操作編

【見る・録る】
テープの見かたや録画のしかたを説明しています。

【タイマー録画】
留守録画(タイマー録画)のしかたを説明しています。

【便利な使いかた】
「見る・録る」「タイマー録画」以外の使いかたを説明しています。

設置・準備編

【設置・準備】
ご自分で設置するときは、ここをお読みください。接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたなどを説明しています。

【ご参考】
「故障かな...と思ったら」「保証とアフターサービス」は必ずお読みください。

安全にお使いになるためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(*2)を負う可能性が想定される」内容、「容れ物の物的損害(*3)のみが発生が想定される」内容を示しています。

- *1 重傷 …… 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- *2 傷害 …… 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- *3 物的損害 …… 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

	この記号は、気をつけていただきたい「注意」の内容を表しています。		この記号は、「指に注意する」ことを表しています。
	この記号は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。絶対に行わないでください。		この記号は、コンセントから「電源プラグを抜く」ことを表しています。
	この記号は、「分解禁止」を表しています。		この記号は、「接触禁止」を表しています。
	この記号は、「水場での使用禁止」を表しています。		

警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

風呂場では使用しない

水場での使用禁止

(風呂場で使用すると) 火災・感電の原因となります。

警告

水にぬらさない

水場での使用禁止

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- ・ 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようご注意ください。
- ・ 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

ビデオの上に、花びん、植木鉢、コップなど水のいった容器、または小さな金属物を置かない

禁止

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

禁止

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるため、取り扱いの際は、次の点を守ること

- ・ 傷つけない
- ・ ねじらない
- ・ 無理に曲げない
- ・ 重い物や角が鋭利なものをのせない
- ・ 加熱しない
- ・ 引っ張らない
- ・ 加工しない
- ・ 束ねない
- ・ 敷物などでおおわない

禁止

破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。

電源プラグを抜く

電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

禁止

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。

安全にお使いになるためのご注意(つづき)

警告

内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない



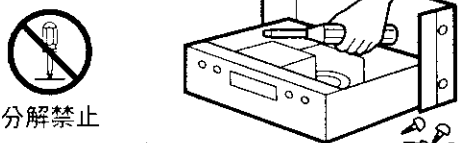
ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

ビデオのカバー、裏ぶたを外さない
分解・修理・改造をしない



分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

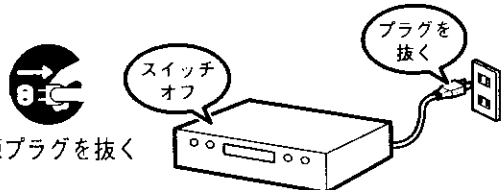


電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なおいがあるなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

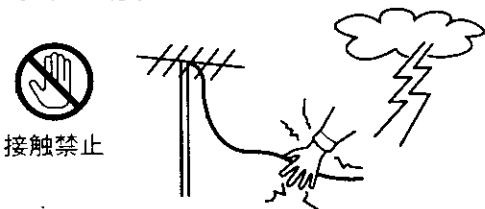


電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

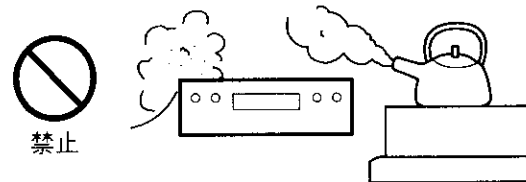


接触禁止

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない



禁止

内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

ビデオの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守る

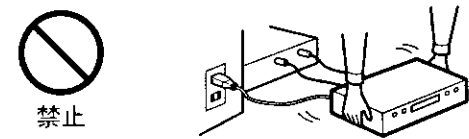
- ・ 横倒し、逆さまにしない
- ・ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない
- ・ テーブルクロスを掛けない
- ・ ビデオの後面を壁に押しつけない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

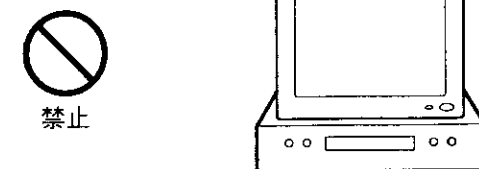


禁止

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

テープ保護のため、ビデオテープは取り出ししておいてください。

ビデオの上に、重い物を置かない
ビデオの上に乗らない



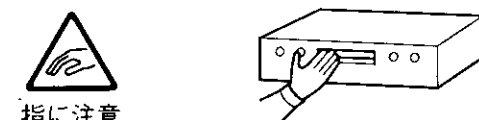
禁止

倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

テープ挿入口に手を入れない

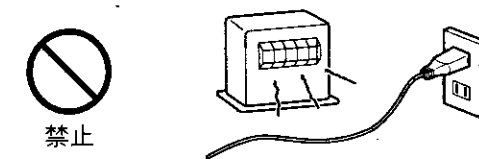


指に注意

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。

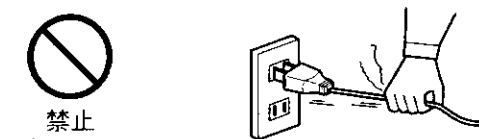
電源コードを熱器具に近づけない



禁止

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを持って抜かない



禁止

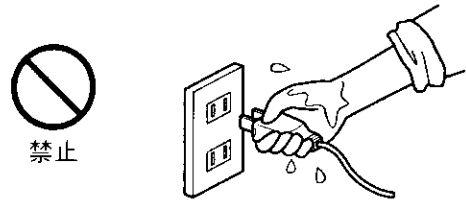
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

安全にお使いになるためのご注意(つづき)

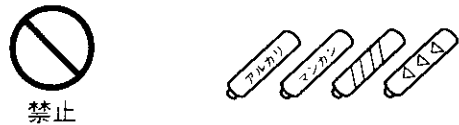
⚠️ 注意

ぬれた手で電源プラグを持たない



ぬれていると、感電する原因となることがあります。

指定以外の乾電池は使わない



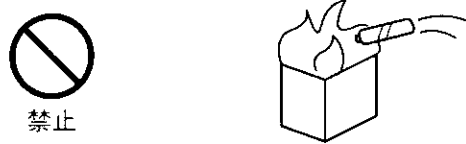
指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

- ・ 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- ・ 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。

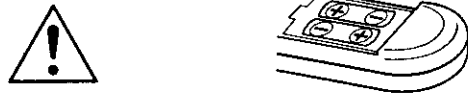
乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- ・ 火の中に入れてない
- ・ 加熱しない
- ・ 充電・分解しない
- ・ ショートさせない
- ・ 鍵などの金属物と接触させない



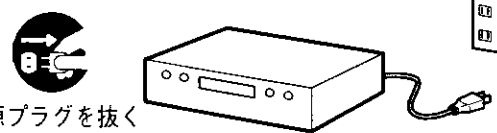
発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

乾電池は、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる



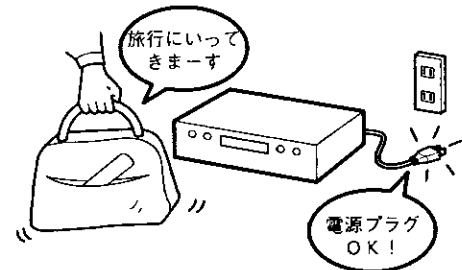
間違えると、乾電池の発熱・破裂・液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く
電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。

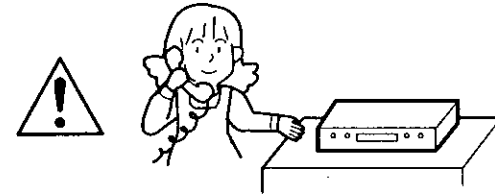
長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

⚠️ 注意

5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください



ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。

アンテナ工事には、技術が必要です。販売店にご相談ください。



アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

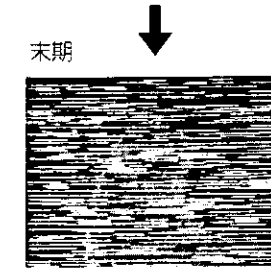
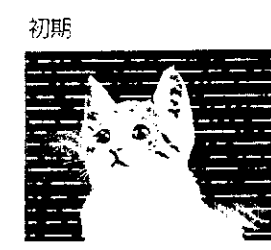
お知らせ

アンテナの立てかたについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。 ● アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。 ● 金属の多い場所に配線することも避けてください。 ● VHF アンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。
アンテナの点検について	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では寿命が短くなりますので早めに点検してください。
テレビの映りが悪いときは	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなる場合があります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。
ラジオの近くに置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。
直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
強力な磁気のあるところに置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。
接続機器の取扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

ヘッド汚れにご注意！ (ビデオヘッドが汚れて、 画像や音が出なくなることがあります。)

●ヘッドの清掃

(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる)



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためです。ビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビゲーション機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

●ヘッドの磨耗



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に磨耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

(つづく)

使用上のご注意(つづき)

お知らせ

結露にご注意!

※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
 - ・暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
 - ・夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
 - ・湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

- 本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

- ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

大切な録画をするときは試し録りを!

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

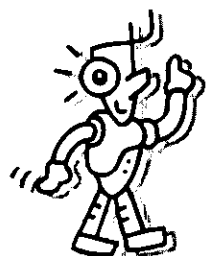
著作権について

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の特長

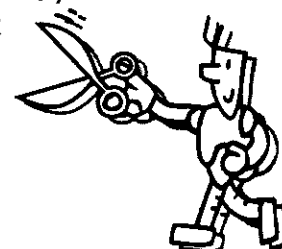


19ミクロンヘッド
3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。



大型操作ボタンと大型時計表示
時計やカウンターが大きく、操作ボタンも大きいので快適に操作できます。

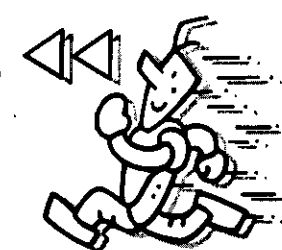
CMオートカット (52ページ)
CMを自動的にカットしながら録画できます。



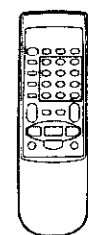
Gコード予約 (35ページ)
Gコードシステム*内蔵により、新聞などに掲載されているGコード(8桁の数字)を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。

*Gコードはジェムスターコードの略です。Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

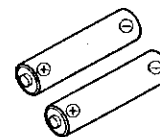
高速リワインド (25ページ)
テープを約260倍速で巻戻します。



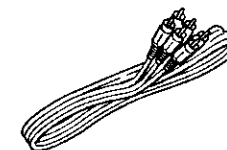
付属品を確かめましょう



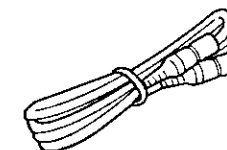
ワイヤレスリモコン
…1個(19ページ)



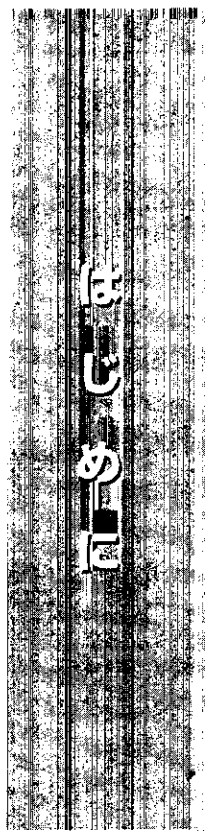
単3形乾電池
…2個(19ページ)



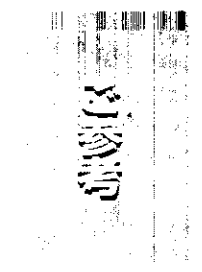
映像・音声コード
…1本(70ページ)



同軸ケーブル
…1本(67ページ)



	ページ
この取扱説明書の見かた	2
安全にお使いになるためのご注意	4
本機の特長	13
付属品を確かめましょう	13
各部のなまえ	
リモコン	16
ビデオ (正面)	17
ビデオ (後面)	17
ビデオの表示窓	18
リモコンの使いかた	
乾電池の入れかた	19
リモコンの操作範囲	19
ビデオを操作する	20
テレビを操作する	20
テープを入れる・取り出す	
入れかた	21
取り出しかた	21
テープの「つめ」について (誤消去防止)	21
ビデオの画像をテレビに映す	22
テープを見る (再生)	
再生する	24
再生画像にノイズが出る時 (トラッキング調節)	25
テープを高速 (260倍速) で早送りまたは巻戻しする	25
いろいろな再生のしかた	
ある場面を止めて見る (静止画再生)	26
画像を見ながら見たい場面を探す (サーチ再生)	26
ゆっくりした速さで見る (スロー再生)	27
不要な場面を早送りする (スキップ再生)	27
CMをとばして見る (再生CMスキップ)	28
録画した番組の頭出しをする (VISS機能)	29
テレビ番組を録画する	
見ている番組を録画する	30
録画しながら別の番組を見る	32
選んだ時間だけ録画する (クイックタイマー録画)	33

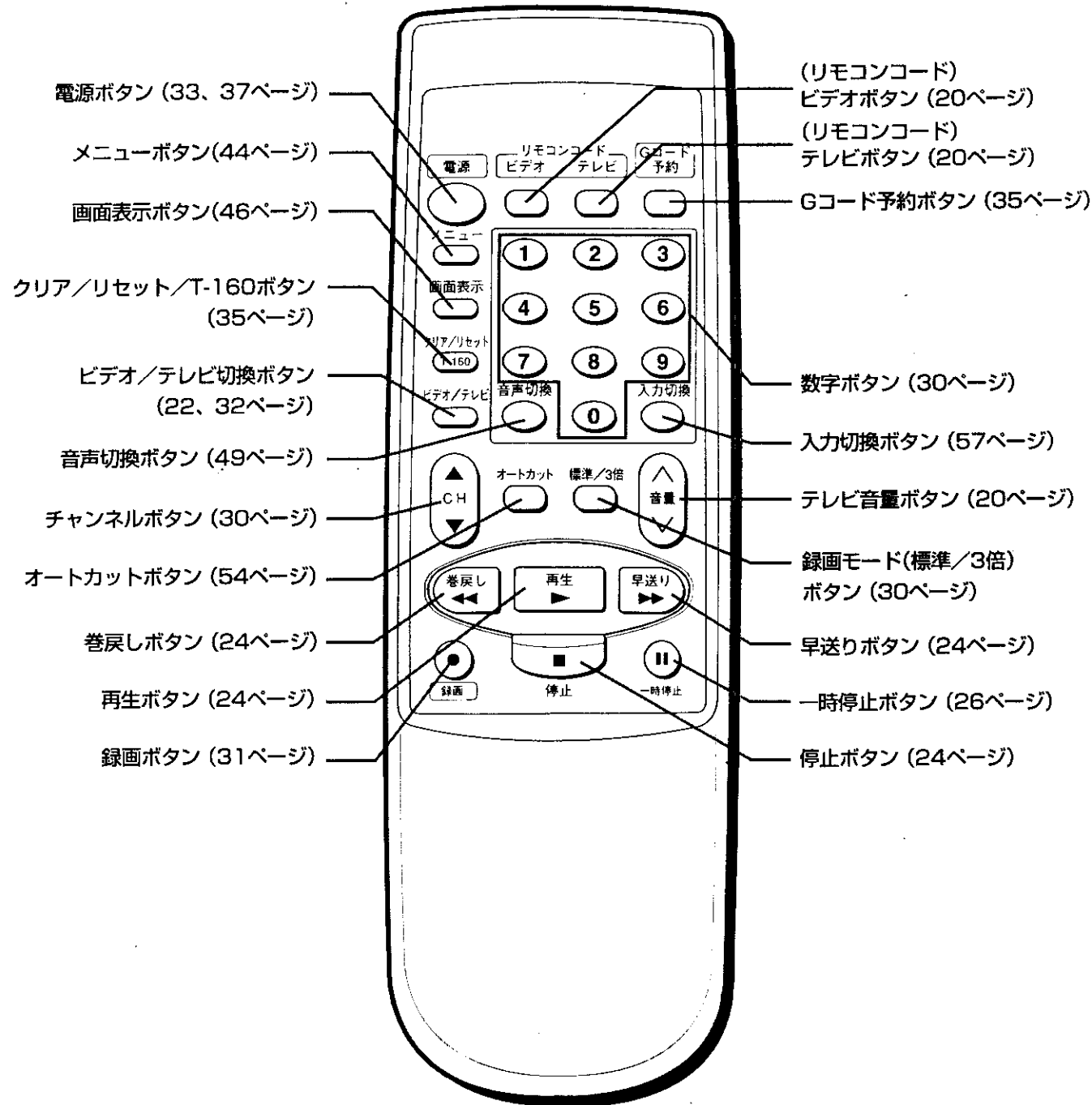


	ページ
タイマー録画予約の前に	34
Gコード予約する テレビの画面を使ってGコード予約する (Gコード画面予約)	35
チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する	38
ビデオの表示窓を使ってGコード予約する (Gコード表示窓予約)	40
タイマー予約する (画面予約)	42
予約の確認・取り消しをする	44
タイマー予約・録画のご注意	45
画面表示を見る	46
残量時間/経過時間を表示する	
テープの残量時間を表示する	47
経過時間を表示する	48
音声を選ぶ	49
二重音声・ステレオ音声を選ぶ	49
ビデオの機能を画面で選ぶ (お好みセレクト)	50
CMをカットしながら録画する (オートカット機能)	52
見ている番組をCMをカットしながら録画する	53
録画予約した番組をCMをカットして録画する	55
リモコンで他社のテレビを操作する	56
テレビコードを設定する	56
テレビを操作する	56
ダビングする	57
ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする	57
本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする	58
ステレオから音声を録音する (オーディオ録音)	59
BS放送を録画する	60
BSチューナー内蔵テレビをつなぐ	60
BSチューナーをつなぐ	61
BS放送を録画する	62
ご自分で設置するときにお読みください。 64~79 接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。 設置・準備編のもくじは65ページをご覧ください。	
故障かな...と思ったら	80
保証とアフターサービス	84
仕様	85
別売品のご紹介	86
用語の解説	87
索引	90

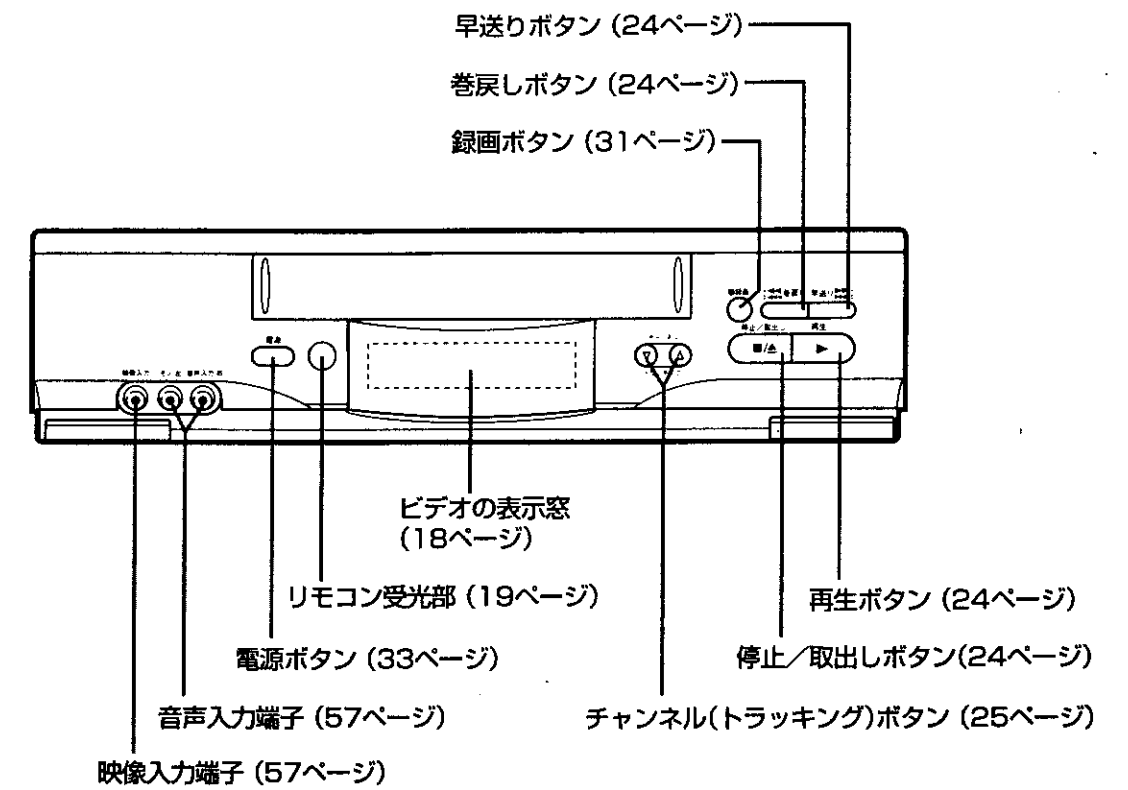
各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

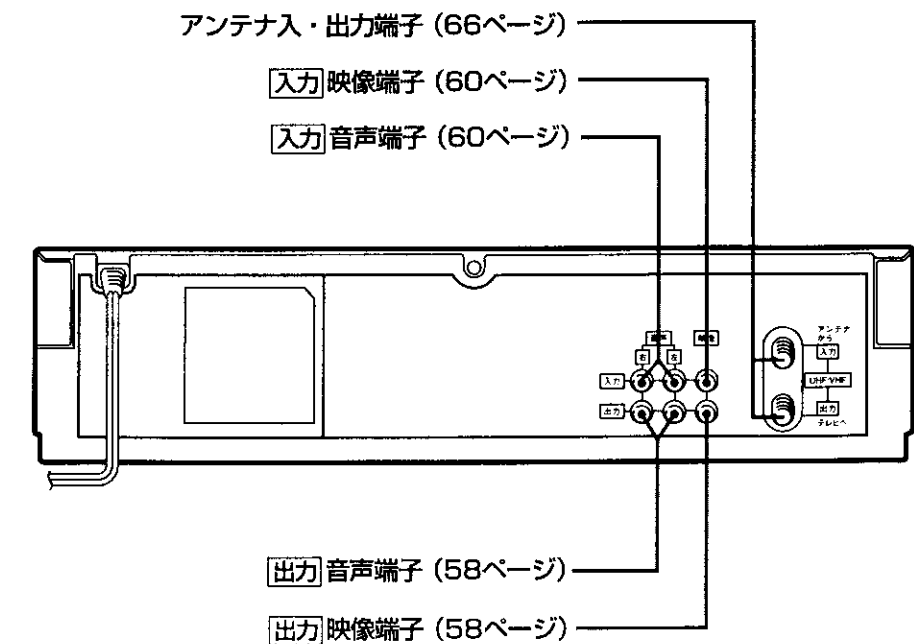
リモコン



ビデオ(正面)

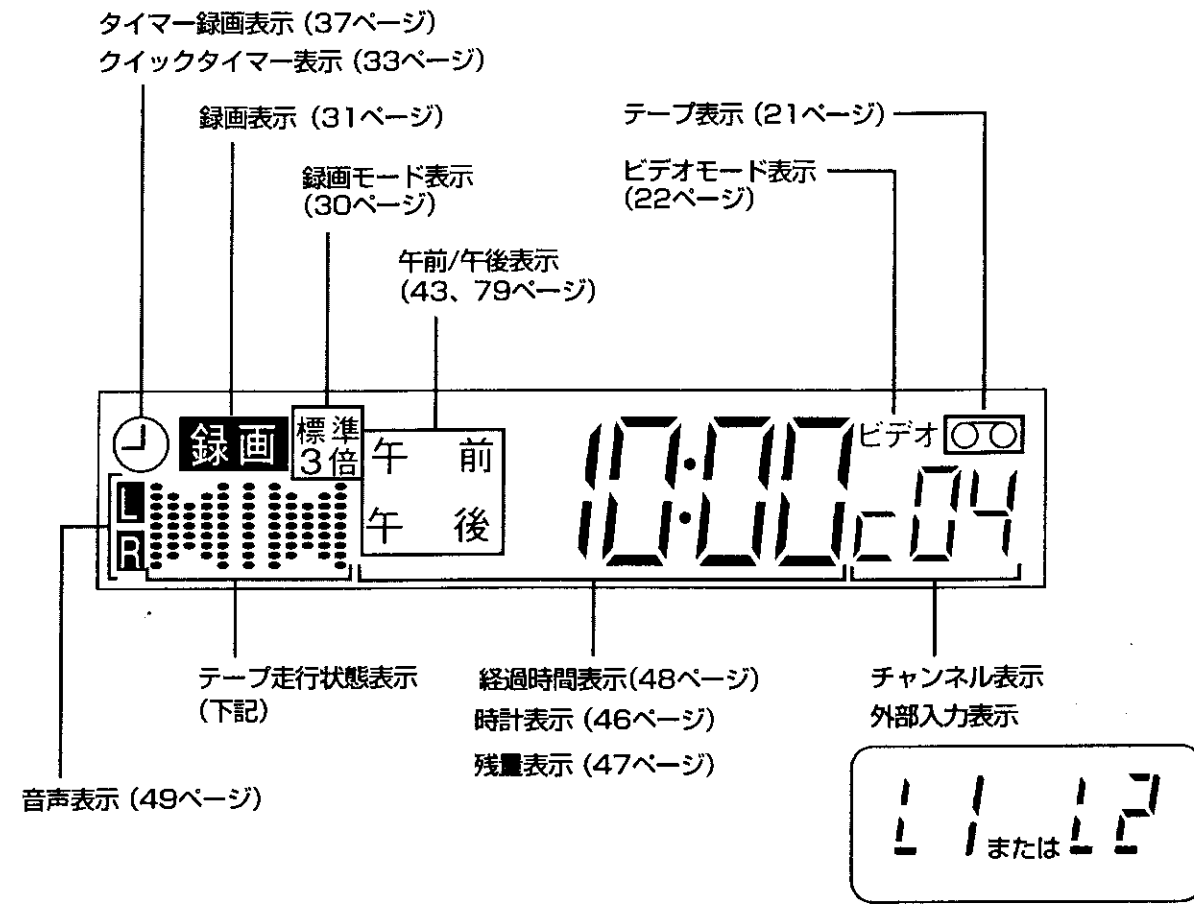


ビデオ(後面)



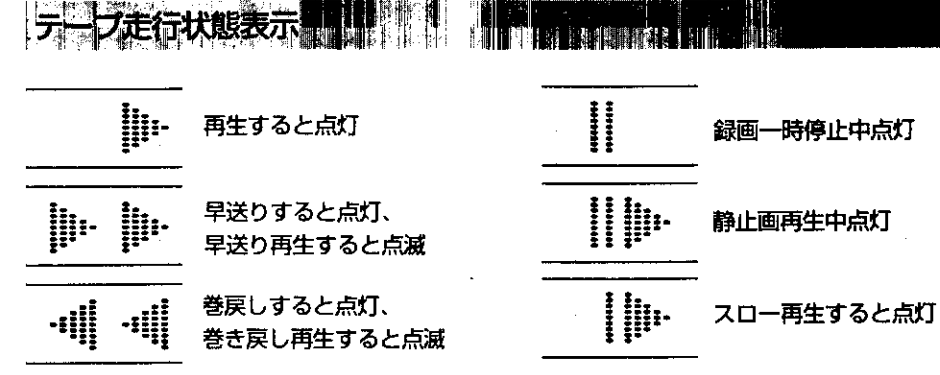
各部のなまえ(つづき)

ビデオの表示窓



お知らせ

●電源を切ると、表示窓は暗くなります。

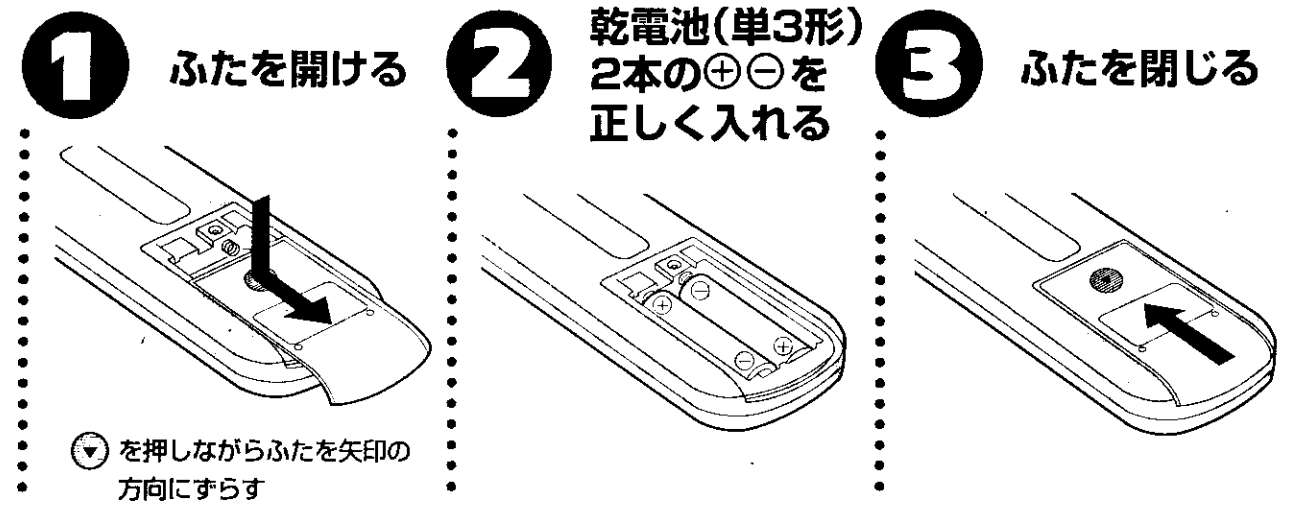


リモコンの使いかた

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

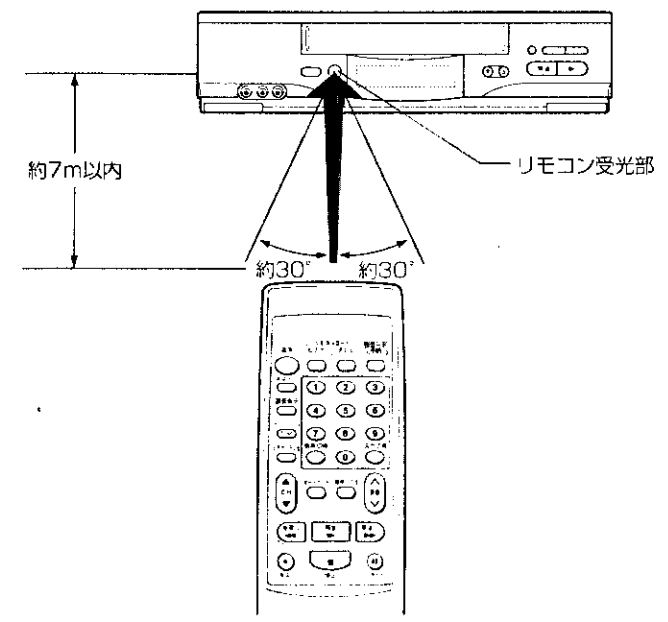
- 注意**
- 指定以外の乾電池は使わないでください。
 - 指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 - 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - 火の中に入れない ・加熱しない ・充電・分解しない ・ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
 - これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

乾電池の入れかた



リモコンの操作範囲

ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、下図の範囲で操作できます。



お知らせ

- 乾電池の寿命は通常の使用で約1年です。リモコンの到達距離が短くなったときは、新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池を交換するときは、古い乾電池を取りはずして**電源ボタンを10秒間押し**してから、新しい乾電池を入れてください。
- 本機を日立製の別のビデオの近くで使用していると、本機のリモコンで両方のビデオが動作することがあります。このとき、別のビデオにリモコンコードの切り換え機能があれば、ビデオ2モードに切り換えると、動作しなくなります。リモコンモード切り換え機能がないときは、2台のビデオを離して設置してください。

このビデオは日立製です
電源ボタン(ON/OFF)

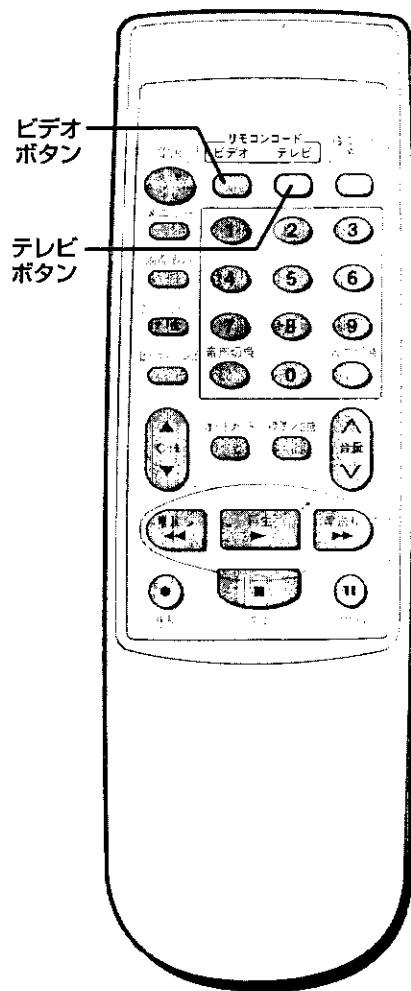
リモコンの使いかた (つづき)

付属のリモコンのビデオボタンを押すとビデオ(本機)の操作、テレビボタンを押すとテレビの操作ができます。

1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作することができます。また、日立製以外の9社のテレビも操作することができます。(詳しくは56ページをご覧ください。)

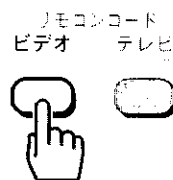


ビデオまたはテレビの操作ができないときは、必ずリモコンコードのビデオボタンまたはテレビボタンを押してから操作してください。

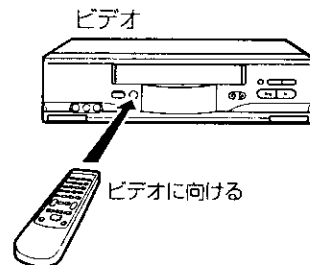


ビデオを操作する

1 ビデオボタンを押す

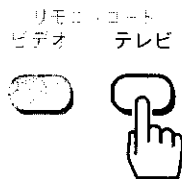


2 リモコンをビデオに向けて操作する

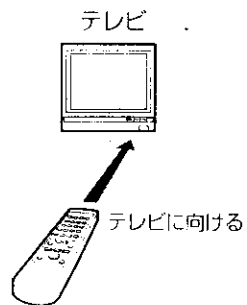


テレビを操作する

1 テレビボタンを押す



2 リモコンをテレビに向けて操作する



お知らせ

● テレビの操作には次のボタンが使えます。

- 電源ボタン
- 入力切換ボタン
- チャンネルボタン
- テレビ音量ボタン

● テレビ音量ボタンは、ビデオ操作時も、テレビの音量を調節できます。

テープを入れる・取り出す

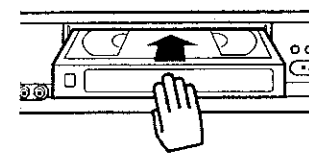
電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。



警告 内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。ビデオテープ挿入口から内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

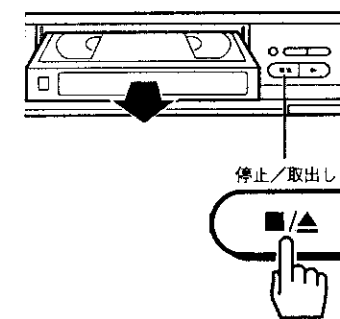
中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入り、ビデオの表示窓に [] が点灯します。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。
- ビデオテープは裏返しては使えません。

取り出しかた

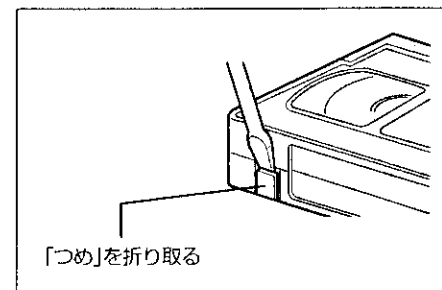
テープが停止状態のとき停止/取出しボタンを押す



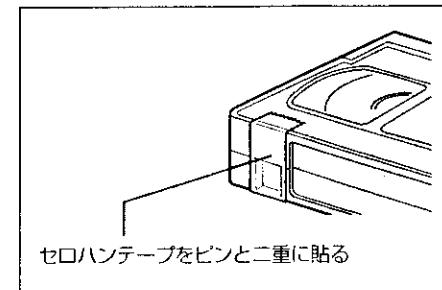
- 電源を入れなくてもテープを取り出せます。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

- 録画を誤って消さないために
- ふたたび録画するとき



「つめ」を折り取る



ゼロハンテープをピンと二重に貼る

お知らせ

テープを入れると

● ビデオの表示窓が時計表示のときテープを入れると、自動的に経過時間表示に切り換わります。時計または残量表示に切り換えるには画面表示ボタンを押します(46ページ)。

テープを取り出すと

● ビデオの表示窓が経過時間表示または残量表示のときテープを取り出すと、自動的に時計表示に切り換わります。

テープの種類と録画時間

● 録画モードを「標準」にすると、テープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

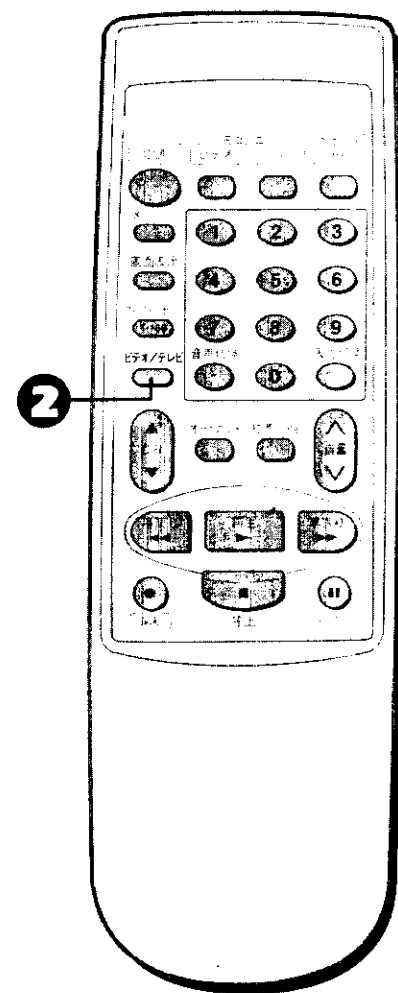
テープの種類	モード	録画時間
T-210	標準	3時間30分
	3倍	10時間30分
T-180	標準	3時間
	3倍	9時間
T-160	標準	2時間40分
	3倍	8時間
T-140	標準	2時間20分
	3倍	7時間
T-120	標準	2時間
	3倍	6時間
T-90	標準	1時間30分
	3倍	4時間30分
T-60	標準	1時間
	3倍	3時間
T-30	標準	30分
	3倍	1時間30分

つめの折れたテープが入っているとき

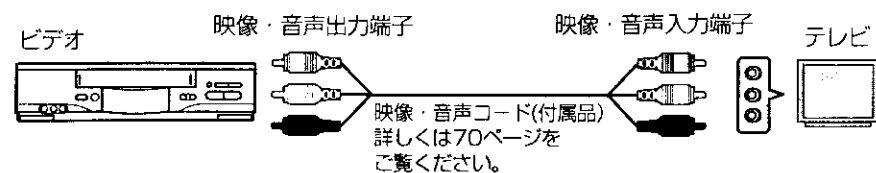
● 「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

ビデオの画像をテレビに映す.....

ビデオテープの再生画面や録画中の番組をテレビで見するには、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続のしかたによって準備が違います。接続を確認してから下記のように設定してください。



映像・音声入力端子つきテレビにつないでいるとき

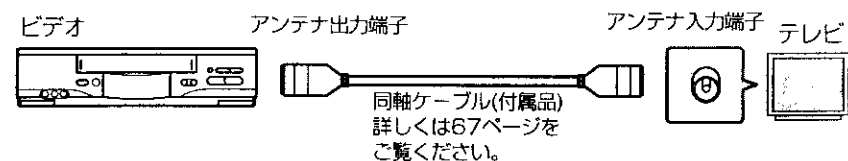


.....
テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

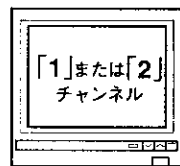


●テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

アンテナ端子だけのテレビにつないでいるとき

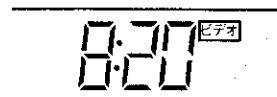


.....
1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる



●69ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

.....
2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す



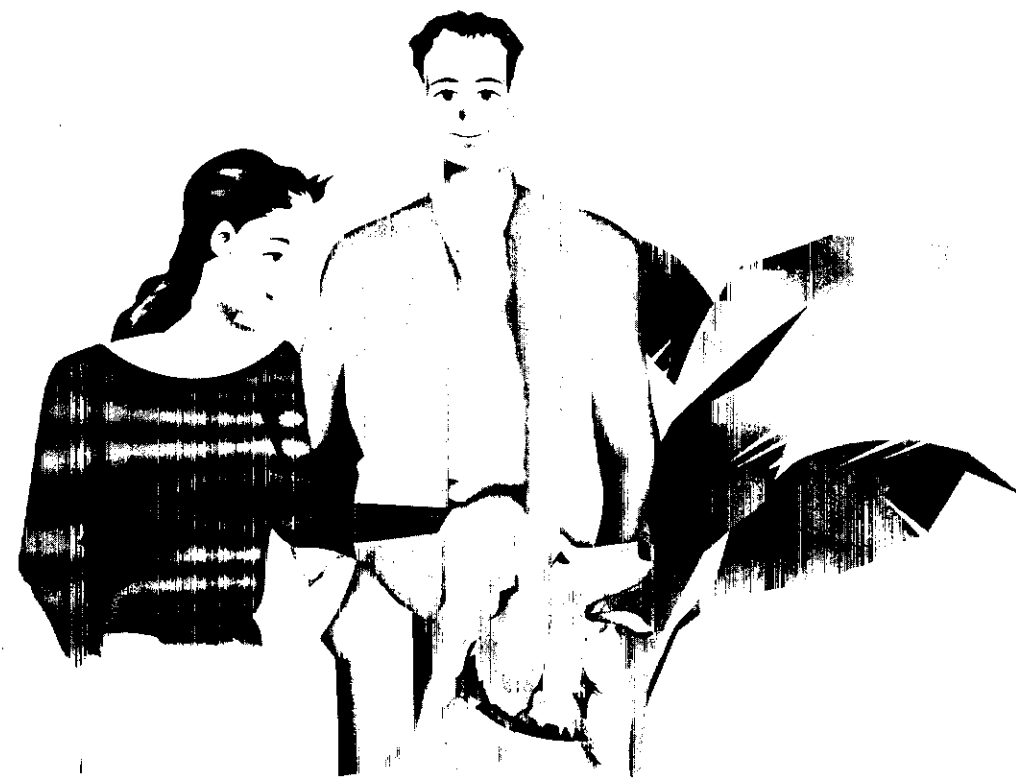
●ビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させます。
●テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

操作編

見る・録る

タイマー録画

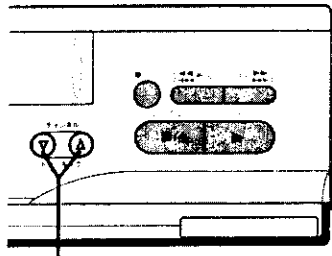
便利な使いかた



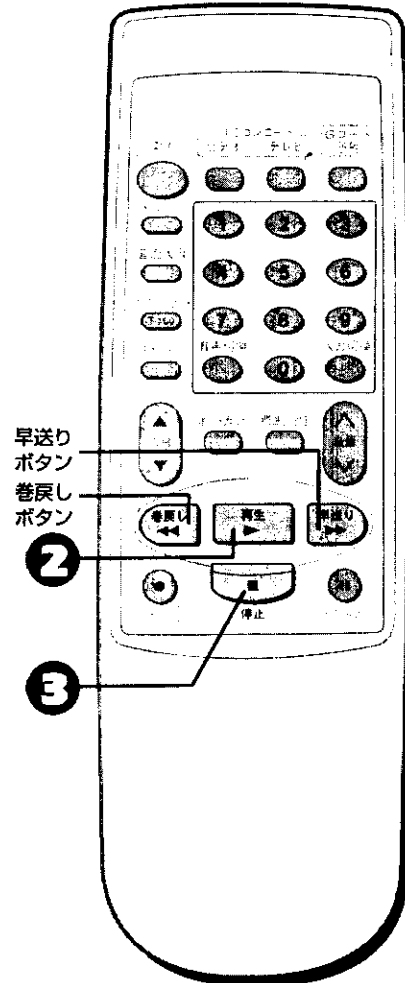
テープを見る(再生)

テープに録画した番組をテレビで見ることを、「再生」といいます。

重要 冬など寒い時期は、十分に部屋の温度になじませてからテープを入れて再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。



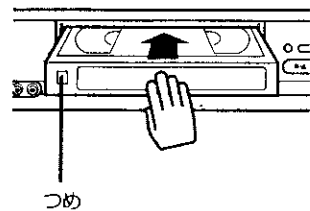
チャンネル(トラッキング)ボタン



再生する

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 録画したテープを入れる



- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど、「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間表示されます。

2 再生ボタンを押す



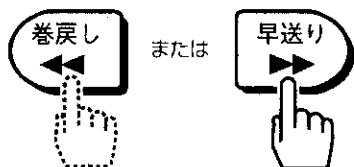
- 再生が始まります。

3 再生をやめるときは停止ボタンを押す



テープを早送りまたは巻戻したいとき

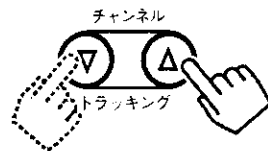
停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 重要**
- テープによっては、再生を始めてオートトラッキング機能が働いたとき、ノイズの入った画像や音声が出ることがあります。オートトラッキング調節が終わるとノイズは消えます。
 - 高速の早送りまたは巻戻しのときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは通常の早送り/巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

再生画像にノイズが出るとき(トラッキング調節)

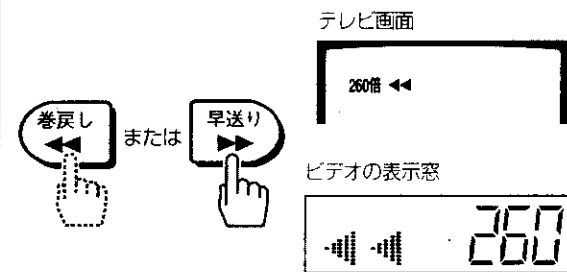
再生中に、ビデオ本体のチャンネル(トラッキング)ボタンを押す



- もっとも画像がきれいになるように、チャンネル(トラッキング)ボタンを押して調節してください。
- リモコンのチャンネルボタンでも調節できます。

テープを高速(260倍速)で早送りまたは巻戻しする

早送りまたは巻戻しボタンを押したあともう一度早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 高速の早送りまたは巻戻し中に早送りまたは巻戻しボタンを押すと、通常の早送り/巻戻しの速さに戻ります。

お知らせ

オートトラッキングについて

- 再生を始めると、オートトラッキング機能が働いて、画面がきれいになるように自動的に調節します。
- 次のようなテープでは、オートトラッキング機能が正常に動かないことがあります。
 - 一 傷がついたテープ
 - 一 録画状態の悪いテープ
 - 一 本機以外で録画したテープ

オート機能について

- テープを最後まで再生するとテープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリwind)
- テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリwindシャットオフ)

音声について

- 二重音声番組を再生するときは、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(49ページ参照)。

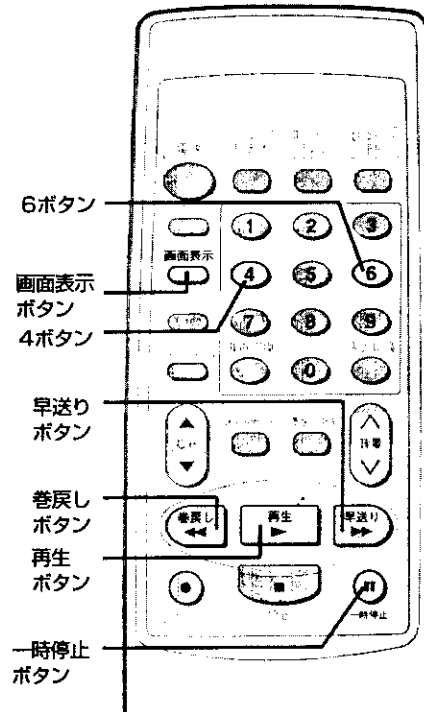
簡易再生(SQPB)について

- S-VHS方式で録画したテープを簡易的に再生できます。

いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。また、テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しをすることもできます。

- 静止画、サーチ、スロー、CMスキップ中は音声が出ません。
- S-VHS方式で録画したテープは、静止画、サーチ、スロー、CMスキップ中は画像にノイズや乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
- テープの録画モード(標準/3倍)が切り換わる部分では、スロー再生の画面にノイズが出たり、画面が乱れたりすることがあります。



お知らせ

静止画再生の画像が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするよう調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては、揺れを抑えられないことがあります。

ある場面を止めて見る(静止画再生)

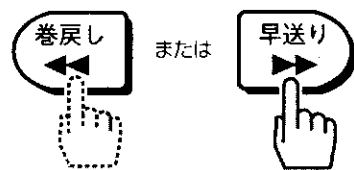
再生中に一時停止ボタンを押す



- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、テープが自動的に停止します。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ再生)

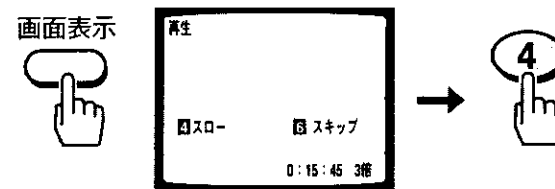
再生中に早送り、または巻戻しボタンを押す



- 画像が早送り、巻戻し状態で送られます。
- サーチ再生中は、数本のノイズが出ます。
- 見たい場面が現れたら、再生ボタンを押してください。再生に戻ります。
- ボタンを押し続けると、さらに早い速度で場面を探ることができます。見たい場面が現れたら、ボタンから指を離すと再生に戻ります。

ゆっくりした速さで見る(スロー再生)

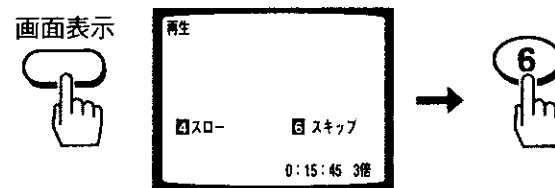
再生中、下の画面を表示させてから4ボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、テープが自動的に停止します。
- 画面表示ボタンを押さずに4ボタンだけ押してもスロー再生できます。

不要な場面を早送りする(スキップ再生)

再生中、下の画面を表示させてから6ボタンを押す



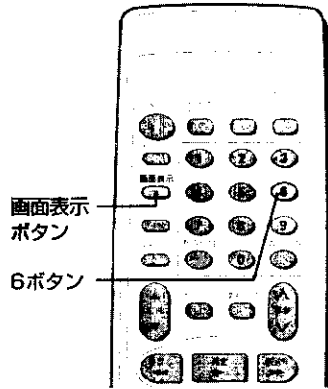
- 映像を自動的に30秒間早送り再生してから再生します。
- 早送り再生しているあいだにもう1度6ボタンを押すと、60秒間早送り再生してから再生します。
- 画面表示ボタンを押さずに6ボタンだけ押してもスキップ再生できます。

お知らせ

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

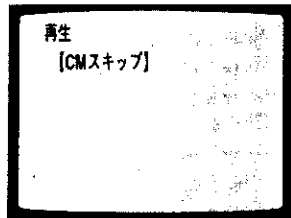
- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少なくすると、静止画再生時のノイズも少なくなります。

いろいろな再生のしかた(つづき)



CMをとばして見る(再生CMスキップ)

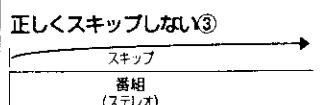
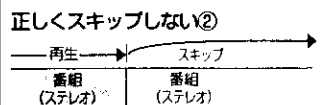
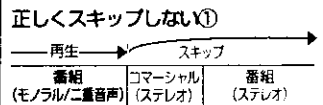
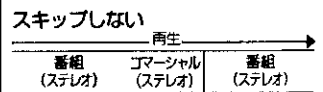
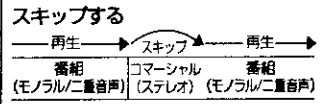
ビデオモード設定で「5 再生CMスキップ」[入]を選ぶ(51ページ参照)。



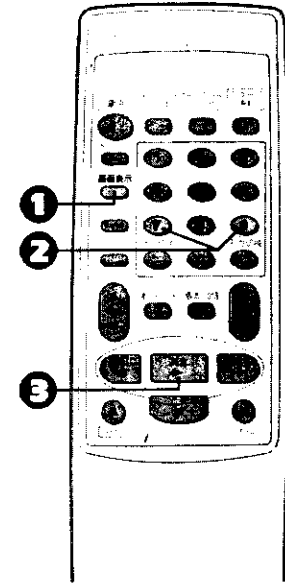
- 再生を始めると、テレビに「CMスキップ」が数秒間表示されます。
- CMの部分を自動的にスキップ(早送り再生)します。
- ビデオモード設定で「5 再生CMスキップ」[切]を選ぶと、CMスキップは解除され、「スキップオフ」が数秒間表示されます。

お知らせ

再生CMスキップとは
CMスキップは、ステレオ放送とモノラル/二重音声放送の違いを検出し、ステレオ放送部分のみをスキップする機能です。ステレオ放送番組やモノラル/二重音声放送のCMをスキップすることはできません。



●再生CMスキップのできるテープは、当社製再生CMスキップ機能付きビデオで録画したテープです。



お知らせ

VISS*(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

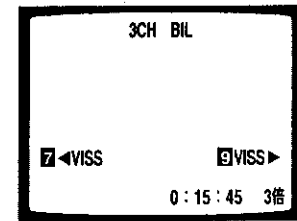
次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができません。

- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

ファイブエス インデックスサーチ システム
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

録画した番組の頭出しをする(VISS機能)

1 停止状態で画面表示ボタンを押す



●テレビに左の画面が現れます。

2 ①の画面が出ている間に7または9ボタンを押す



または



巻戻しするとき

早送りするとき

- 番組の頭(VISS信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と約15秒間の再生を繰り返します。

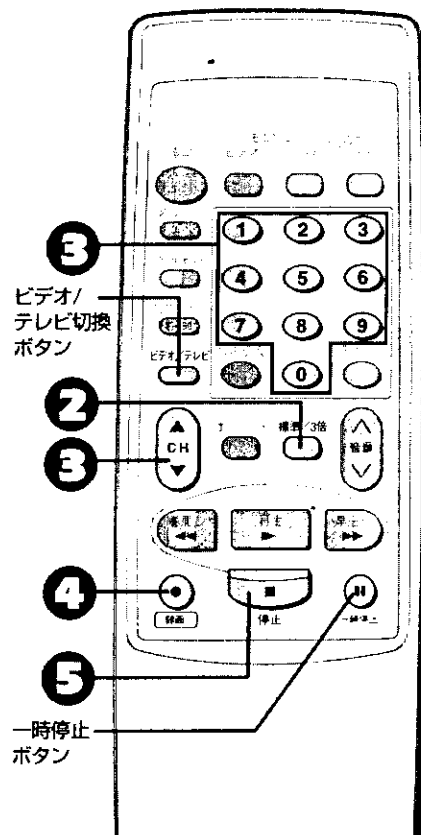
3 見たい番組が現れたら再生ボタンを押す

●再生になります。



テレビ番組を録画する

テレビで見ている番組をテープに録画したり、ある番組を録画しながら別の番組を見たりすることができます。



見ている番組を録画する

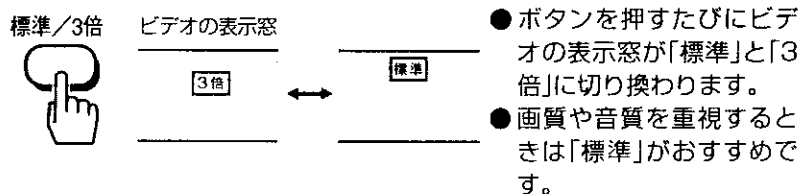
- ・テレビの電源を入れる
- ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる



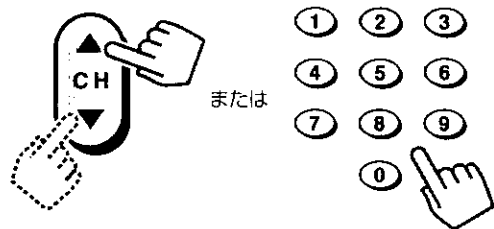
●自動的に電源が入ります。

2 録画モードを選ぶ



●ボタンを押すたびにビデオの表示窓が「標準」と「3倍」に切り換わります。
●画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ



●0~9の数字ボタンでつけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

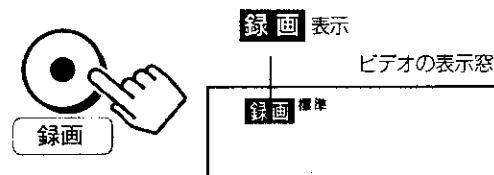
お知らせ

チャンネルの選ばれる順序
●チャンネルボタンの▲を押すと、次の順にチャンネルが変わります。▼を押すと、逆の順に変わります。

VHF	UHF	CATV*
1~12	→ 13~62	→ 13~63
↑ L1, L2 ↓		

* CATVチャンネルを設定したとき表示される(77ページ参照)。

4 録画ボタンを押す



- 表示窓に「録画」が現れ、録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

5 録画をやめるときは停止ボタンを押す



- 録画が終了します。
- 録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してから、再生ボタンを押してください。

録画の途中で不要な場面を飛ばすには

1 録画中に一時停止ボタンを押す
テープ走行が一時止まります。



2 録画したい場面になったら再び一時停止ボタンを押す
録画が再開します。



録画の途中で別の番組に切り換えるには

1 録画中に一時停止ボタンを押す
テープ走行が一時止まります。



2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ



3 一時停止ボタンをもう一度押す
録画が再開します。



お知らせ

テレビでビデオチャンネル1または2を選んでいるとき
●録画したいチャンネルがテレビに現れないときは、ビデオ/テレビ切替ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。

ビデオ/テレビ



オート機能について

- テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻されます(オートリワインド)。
- 録画一時停止を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため、テープが自動的に停止します。

音声について

- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。
- 録画中は、録音される音声には影響なく、音声切替ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(49ページ参照)。

オートカット機能について

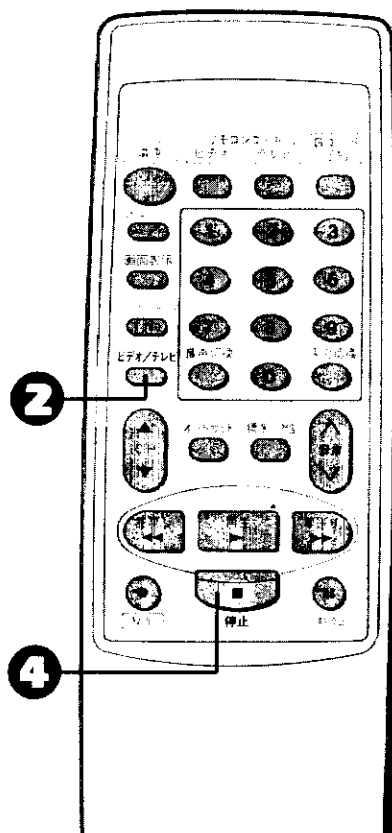
- CMをカットしながら番組を録画することができます(53ページ参照)。

CATV(ケーブルテレビ)やBS(衛星)放送を録画するには

- CATVについては77ページをご覧ください。
- BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーを接続すると、BS放送の録画ができます。62ページをご覧ください。

テレビ番組を録画する (つづき)

録画しながら別の番組を見ることができます。



録画しながら別の番組を見る

1 録画を始める

- 30、31ページの ① ~ ④ の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓から「ビデオ」表示を消す

ビデオ/テレビ



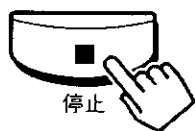
- ビデオチャンネルの切換で「OFF(切)」を選んだときは、この操作が不要です(71ページ参照)。

3 テレビの入力切換を「テレビ」にして、見たいチャンネルを選ぶ



- テレビで選んだ番組が画面に現れます。ビデオで録画している番組は、そのまま録画されます。

4 録画をやめるときは停止ボタンを押す



- 録画が終了します。
- 録画した内容を見るには、巻戻しボタンを押してテープを巻戻し、テレビの入力切換を「ビデオ」(またはビデオチャンネル)または2)にしてから再生ボタンを押してください。

お知らせ

テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶとき

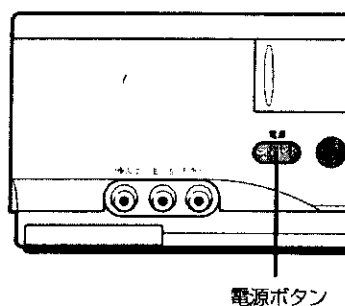
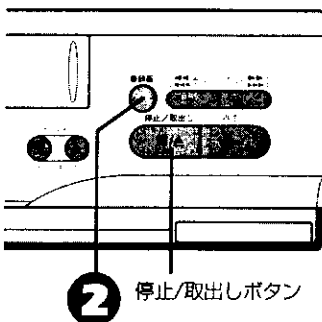
- 表示窓の「ビデオ」表示を消してください。こうすると、ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶことができます。



重要

- ビデオの時計を合わせておかないと、録画時間を選べません。時計の合わせかたは、78ページをご覧ください。
- リモコンの録画ボタンでは操作できません。ビデオの録画ボタンで操作してください。

ビデオ本体

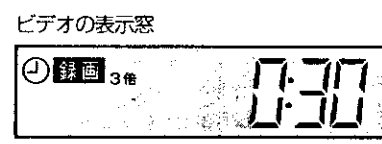


選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー録画)

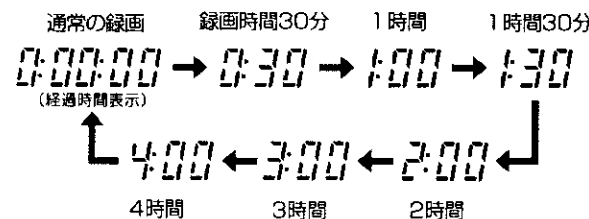
1 録画を始める

- 30、31ページの ① ~ ④ の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオ本体の録画ボタンを押して、録画したい時間を合わせる



- ボタンを押すたびに、表示窓の録画時間が変わります。
- 「録画」表示と「0」表示が点灯します。
- 合わせた時間だけ録画したあと、電源が切れます。



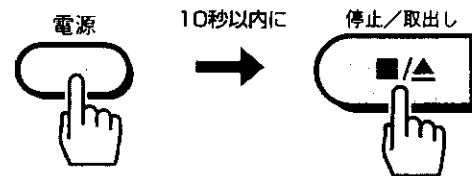
お知らせ

- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に録画の残り時間が表示されます。
- クイックタイマー録画中にビデオの録画ボタンを押すと、録画時間を変更することができます。

途中で録画をやめるには

次の2つの方法があります。

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止/取出しボタンを押す



- リモコンの電源ボタンと停止ボタンでも操作できます。

- ビデオの録画ボタンを繰り返し押して、表示窓の録画時間をテープの経過時間表示(通常の録画)に戻したあと、停止/取出しボタンを押す

タイマー録画予約の前に

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。8番組まで予約することができます。毎日のドラマや、毎週1回の映画も予約することができます。

本機でできるタイマー録画予約の方法

次の3通りの方法で予約できます。

A テレビの画面を使ってGコード予約する。⇒35ページ

テレビ画面に表示される「Gコード予約設定」画面に従って、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード(番組予約番号)を入力するだけで、簡単に予約ができます。

B ビデオの表示窓を使ってGコード予約する。⇒40ページ

ビデオの表示窓にGコード(番組予約番号)を入力して予約する簡易予約方法です。ビデオやテレビの電源を入れずに手軽に予約できます。

C テレビの画面を使ってタイマー予約する。⇒42ページ

テレビ画面に表示される「タイマー録画」画面に従って、開始時刻や終了時刻、チャンネル、日付を入力して予約する方法です。Gコードがわからない場合などにご利用ください。

■Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコードおよび将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

4	00	昼下がりのサスペンス 「乱心」[西] 458182
	55	楽しいクッキング 83521
5	00	ぼくの旅日記[前] サン ゴの海から(前) 347
	30	鉄腕アトム [西] 80057
6	00	イブニングニュース 円高への軌跡 世界の街から「パリ」 明日をになう人々 2434

Gコード
80057

Gコード予約する

現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

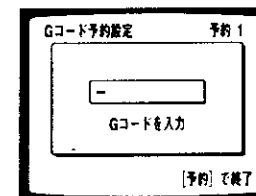
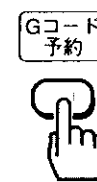
- ビデオの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。
- 録画中や再生中は、タイマー録画予約ができません。録画や再生をしているときは、テープを止めてから予約をしてください。

テレビの画面を使ってGコード予約する(Gコード画面予約)

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- 「つめ」の折れていないテープを入れる

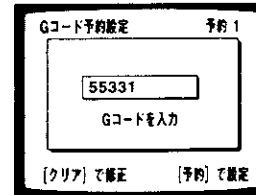
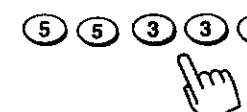
1 Gコード予約ボタンを押す



- 「Gコード予約設定」画面がテレビに現れます。
- 時計を合わせてないと、時計合わせの画面が現れます。
- すでに8つの番組が予約されていると、ビデオの表示窓に「FULL」が現れます。

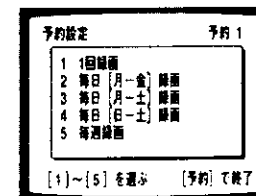
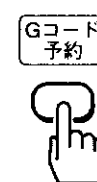
2 Gコードを入力する

例えば、Gコード「55331」を入力します

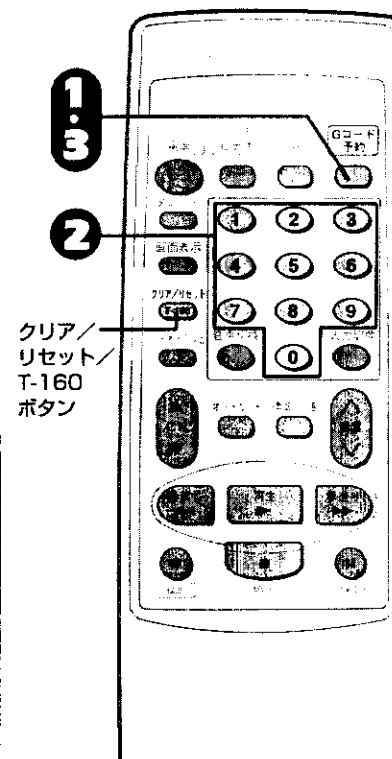


- 数字を間違えたときは、クリア/リセット/T-160ボタンを繰り返し押し続けて、間違えたところで数字を消して、入力し直してください。

3 Gコード予約ボタンを押す



- 「タイマー録画」の画面が現れます。
- 「Gコードを確認」が表示されたときは10秒後に①の画面に戻ります。テレビ欄などのGコードをもう一度確認して、やり直してください。
- 「Gコードを確認」が表示されているときGコードボタンを押すと①の画面に戻ります。



クリア/リセット/T-160ボタン

お知らせ

途中でGコード予約をやめるとき

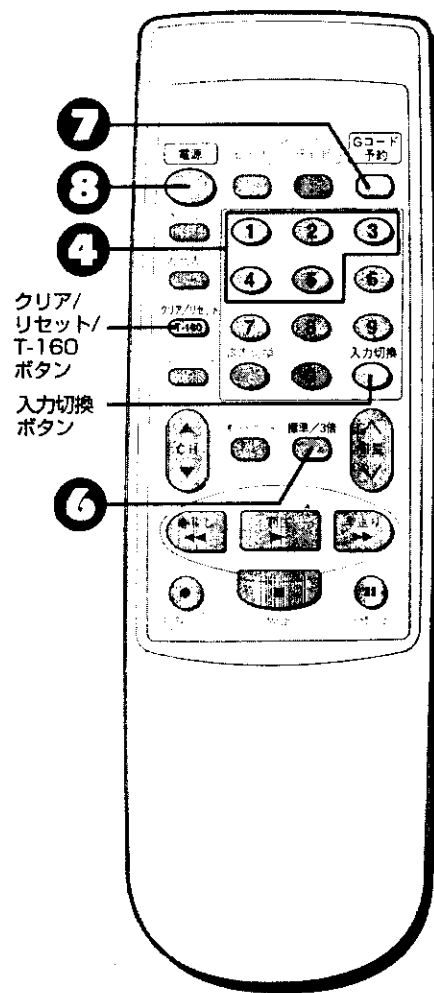
- Gコード予約ボタンを1回または2回押しください。

予約内容について

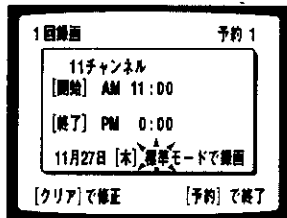
- 番組により、録画時間が実際より長め、または短かめに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコードを入力すると、予約内容はまったく違ったものになるか、または「Gコードを確認」が表示されます。

Gコード予約する(つづき)

重要 タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。ご注意ください。



4 1～5のボタンを押して録画の種類を選ぶ



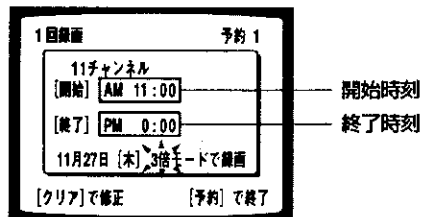
1回録画 → 1ボタン
 月～金まで毎日録画 → 2ボタン
 月～土まで毎日録画 → 3ボタン
 日～土まで毎日録画 → 4ボタン
 同じ曜日に毎週録画 → 5ボタン

- 左の操作は「1回録画」を選ぶ例です。
- 予約内容が画面に表示されます。

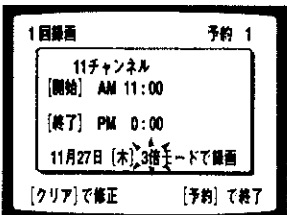
5 画面に表示された予約内容を確認する

次のようなときは38、39ページを参照し、予約内容を修正してから予約を終了してください。

- 録画したいチャンネル、開始時刻、終了時刻が違っているとき⇒38ページ

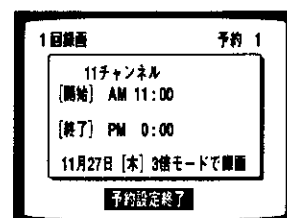


6 録画モードを合わせる



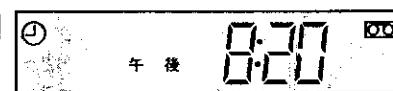
- ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」に切り換わります。「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが自動的に切り換わります(詳しくは45ページ「録画モードをオートに合わせたとき」)。

7 Gコード予約ボタンを押す



- 「予約設定終了」の表示が数秒間現れます。
- 続けて別の番組を予約するときは、①～⑦を繰り返します。

8 ビデオの電源を切る



- ビデオの表示窓に「0」が現れます。
- テープが入っていないと0(タイマー録画表示)が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

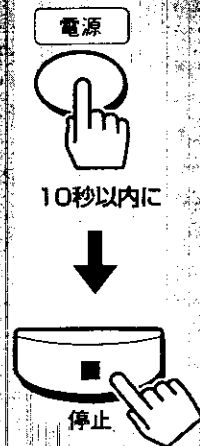
タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
 ● ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは必ずビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

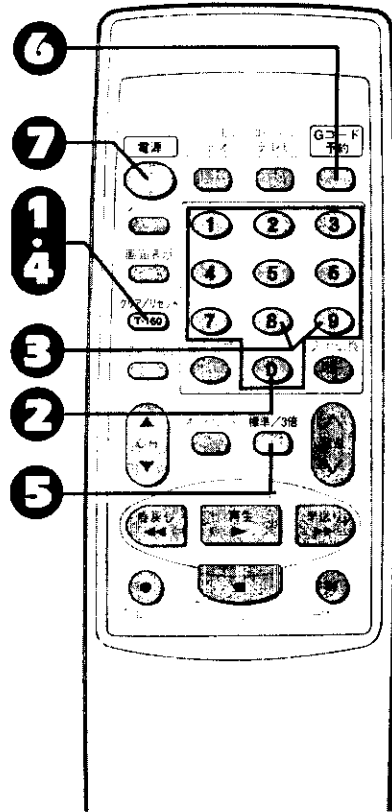
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



オートカット機能について

- CMをカットして番組を録画することができます(53ページ参照)。

Gコード予約する (つづき)



お知らせ

外部機器からタイマー録画するとき

● ②でチャンネルを選ぶ代わりに、入力切換ボタンを押して、「L1」または「L2」を表示させてください。

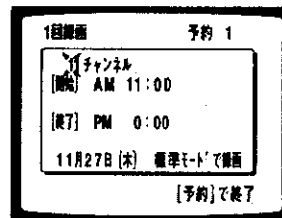
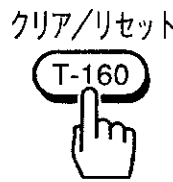
● 「0」で始まるGコード(1コード)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。また、録画の種類は1回録画のみです。

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

開始・終了時刻は合っているのにチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、11チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコードが掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコードで掲載されることがあります)。

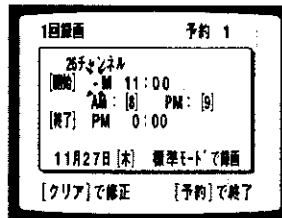
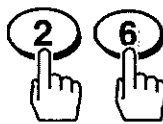
たとえば 36ページの手順⑤で、26チャンネルを予約したいのに11チャンネルが表示されたとき(11チャンネルから26チャンネルに修正したい)

① クリア/リセット/T-160ボタンを繰り返し押し、修正する部分を点滅させる



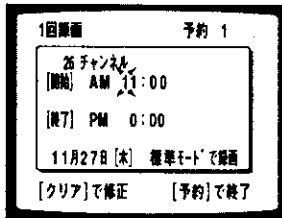
- この例では、チャンネルの10桁の0を点滅させます。
- 開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

② 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



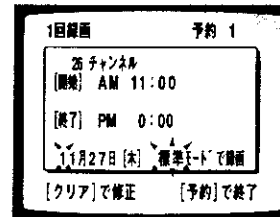
- この例では、2,6を押して、チャンネルを26に修正します。
- 修正したチャンネルは、ビデオに記憶されます。予約のたびに同じチャンネルを合わせ直す必要はありません。

③ 8か9ボタンを押して午前か午後を選ぶ

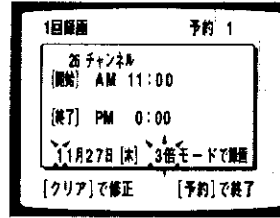


- この例の場合は、8ボタンを押して午前(AM)を選びます。

④ クリア/リセット/T-160ボタンを押して録画モードを点滅させる

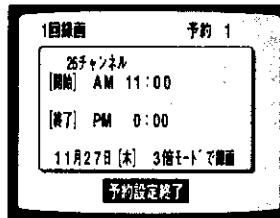


⑤ 録画モードを合わせる



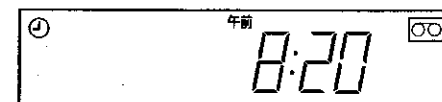
- ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」に切り換わります。「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが切り換わります(詳しくは45ページ「録画モードをオートに合わせたとき」)。

⑥ Gコード予約ボタンを押す



- 「予約設定終了」の表示が数秒間現れます。
- 続けて別の番組を予約するときは、35~37ページの①~⑦を繰り返してください。

⑦ ビデオの電源を切る



- ビデオの表示窓に「0」が現れます。
- テープが入っていないと④(タイマー録画表示)が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

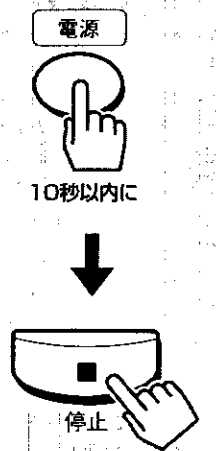
● ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

● ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

● 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



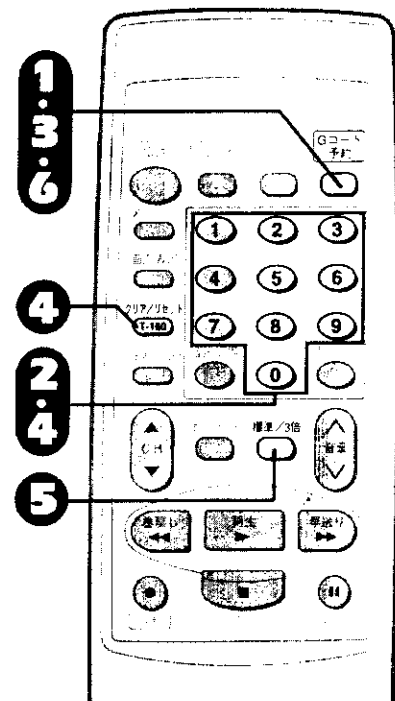
オートカット機能について

● CMをカットして番組を録画することができます(53ページ参照)。

Gコード予約する (つづき)

ビデオやテレビの電源を入れずに、ビデオの表示窓を使ってGコード予約することができます。
1カ月前の番組まで予約可能です。

- ビデオの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。
- Gコード表示窓予約では1回録画のみ予約できます。毎日・毎週録画は予約できません。
- 予約内容が表示窓に出ていないときに操作を15秒以上中断すると、予約は自動的に設定されます。



ビデオの表示窓を使ってGコード予約する(Gコード表示窓予約)

- 「つめ」の折れていないテープが入っていることを確認する
- ビデオの電源は切っておく

1 Gコード予約ボタンを押す

ビデオの表示窓

Gコード予約

●時計表示が左の表示に切り換わります。

●時計を合わせてないとGコード予約できません。

●すでに8つの番組が予約されていると、ビデオの表示窓に「FULL」が現れます。

2 Gコードを入力する 例えば、Gコード「55331」を入力します

5 5 3 3 1

●入力する数字を間違えたときは、クリア/リセット/T-160ボタンを繰り返し押して、間違えたところまで数字を消して、入力直してください。

3 Gコード予約ボタンを押す

録画モード

Gコード予約

●開始時刻、チャンネル、録画モードが表示され、点滅します。予約内容を確認してください。

●「Err」が表示されたら、テレビ欄などのGコードをもう一度確認して、やり直してください。

録画時間 録画チャンネル

- 終了時刻と録画日は表示されませんので確認できません。
- 開始時刻と終了時刻は変更できません。修正したいときは、15秒以内に電源を入れて予約を取り消したあと、35ページのGコード画面予約を行って時刻を修正してください。

●タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。ご注意ください。

4 チャンネルが違っているときは、修正する

クリア/リセット

T-160

●クリア/リセット/T-160ボタンを押してチャンネルの表示を点滅させてから、数字ボタンで修正してください。

●左の操作は26チャンネルに修正する例です。

5 録画モードを合わせる

標準/3倍

●ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「表示なし(オート)」が切り換わります。「表示なし(オート)」にすると、テープの残量に応じて録画モードが自動的に切り換わります(詳しくは45ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。

6 Gコード予約ボタンを押す

Gコード予約

●ビデオ表示窓に「@」が現れます。

●テープが入っていないと「@」が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

外部機器からタイマー録画するとき

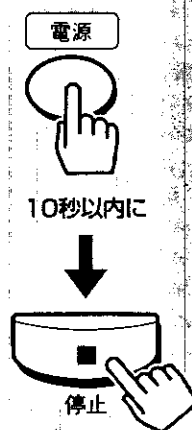
- ④でチャンネルを選ぶ代わりに入力切換ボタンを押して、ビデオの表示窓に「L1」または「L2」を表示させてください。

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは必ずビデオの電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



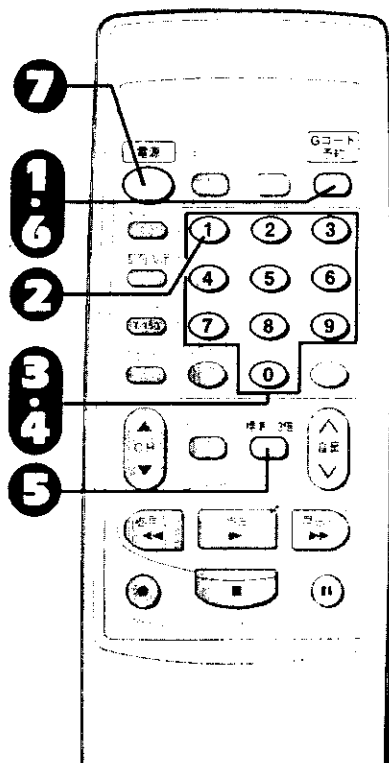
「つめ」の折れたテープを入れたとき

- Gコード予約ボタンを押すと「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから電源を切ってください。

タイマー予約する(画面予約)

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで指定して予約します。毎日のドラマや毎週1回の映画も予約することができます。現在より1年先までの番組を予約することができます。

- ビデオの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。
- 録画中や再生中はタイマー録画予約できません。録画や再生をしているときは、テープを止めてから予約をしてください。



たとえば 4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に3倍モードで録画するとき(1回録画)

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- 「つめ」の折れていないテープを入れる

1 Gコード予約ボタンを2回押す

Gコード予約

- 「予約設定」の画面が現れます。
- 時計を合わせていないと、時計合わせの画面が現れます。
- すでに8つの番組が予約されていると、ビデオの表示窓に「FULL」が現れます。

2 1~5のボタンを押して録画の種類を選ぶ

1

1回録画	→ 1ボタン
月~金まで毎日録画	→ 2ボタン
月~土まで毎日録画	→ 3ボタン
日~土まで毎日録画	→ 4ボタン
同じ曜日に毎週録画	→ 5ボタン

●左の操作は「1回録画」を選ぶ例です。

3 録画したいチャンネルを合わせる

0 4

- ひとけたのチャンネルを合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。

お知らせ

予約している途中で修正するとき

- クリア/リセット/T-160ボタンを繰り返し押し、修正したいところまで点滅を戻して行ってください。

途中で予約をやめるとき

- Gコード予約ボタンを1または2回押してください。

外部機器からタイマー録画するとき

- ③でチャンネルを選ぶ代わりに、入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を表示させてください。



タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。ご注意ください。

4 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる

9 (午後)

0 9 0 0 (時) (分)

1 0 5 5 (時) (分)

1 1 0 6 (月) (日)

- 開始時刻は、午前(AM)は8ボタン、午後(PM)は9ボタンを押して選びます。終了時刻のAM/PMは自動的に表示されます。
- 昼の12時は「P.M.00:00」、夜の12時は「AM00:00」に合わせます。
- 日にちを合わせると曜日自動的に表示されます。

5 録画モードを合わせる

標準/3倍

- ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」が切り換わります。「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが自動的に切り換わります(詳しくは45ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。

6 Gコード予約ボタンを押す

Gコード予約

- 「予約設定終了」の表示が数秒間現れます。
- 続けて別の番組を予約するときは、①～③を繰り返します。

7 ビデオの電源を切る

電源

- ビデオの表示窓に「0」が現れます。
- テープが入っていないと0(タイマー録画表示)が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

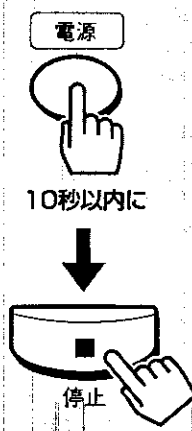
お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは必ずビデオの電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



「つめ」の折れたテープを入れたとき

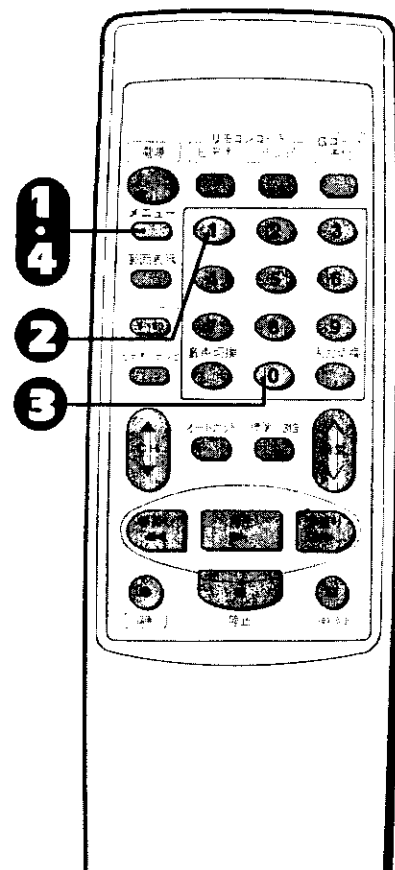
- ビデオの電源を切ると、「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- CMをカットして番組を録画することができます(53ページ参照)。

予約の確認・取り消しをする

Gコード予約した内容も、タイマー予約した内容も次の方法で確認と取り消しができます。

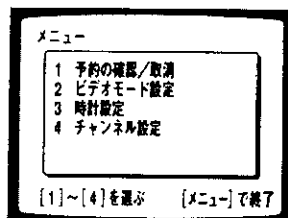
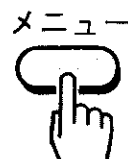


- ・テレビの電源を入れる
- ・テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



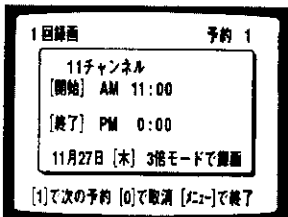
- ・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



- メニュー画面が現れます。

2 1ボタンを押す



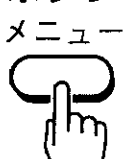
- 予約内容が現れます(予約が1つもないときは画面は切り換わりません)。
- 続けて別の予約内容を見たいときは、1ボタンを繰り返し押ししてください。

3 予約を取り消したいときは、0ボタンを押す



- 次の予約内容またはメニュー画面に切り換わります。
- 続けて別の予約を取り消すときは、2、3を繰り返してください。

4 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す



- 元の画面に戻ります。

お知らせ

- メニュー画面や予約内容の画面は約1分間たつと、自動的に元の画面に戻ります。

タイマー予約・録画のご注意

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

■ Gコード表示窓予約中に、ビデオの表示窓に「Err」が出たとき

Gコードの番号が間違っています。Gコードを確認してください。

■ Gコード予約またはタイマー予約中に、ビデオの表示窓に「FULL」が出たとき

すでに8つの番組が予約されていますので、予約はできません。不要な予約を取り消してください(44ページ参照)。

■ タイマー録画中のボタン操作

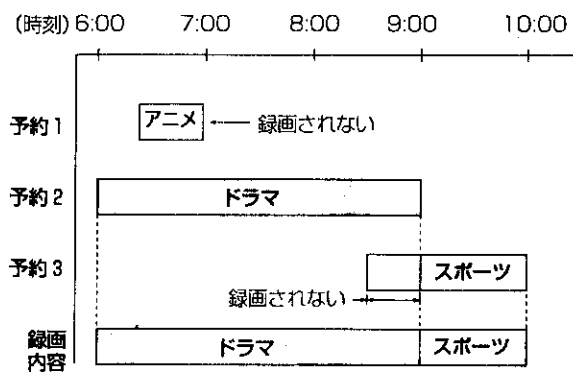
一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

■ 30分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「--:--」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。もう一度時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは78ページ、予約は35~43ページ参照)。

■ 予約内容が重なったとき

先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。



■ タイマー録画中にテープがなくなったとき

自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ 当社製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

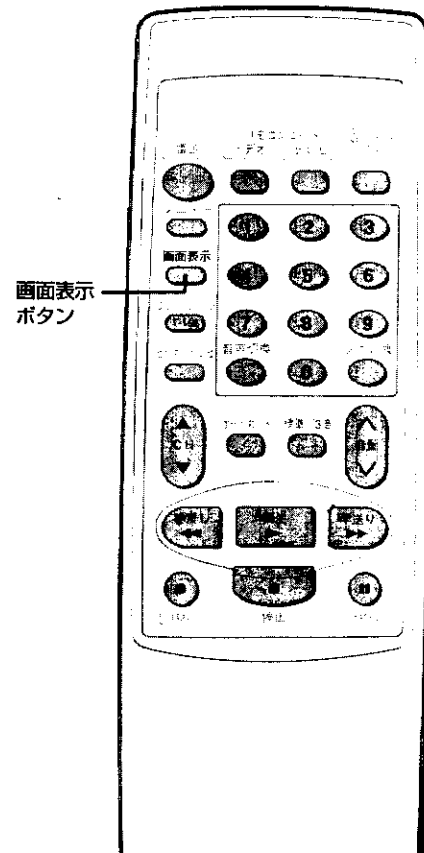
- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■ ケーブルテレビのBS番組をGコード予約するとき

予約設定画面に「L1」表示が自動的に現れます。このときは、クリア/リセット/T-160ボタンを押して「L1」表示を点滅させたあと、ケーブルチャンネルに合わせてください。

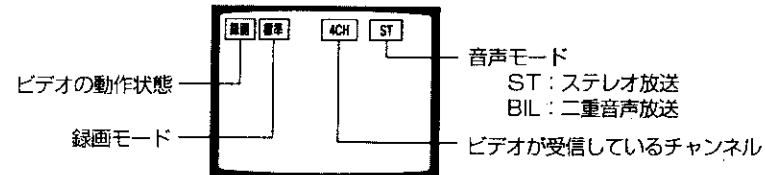
画面表示を見る.....

テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。



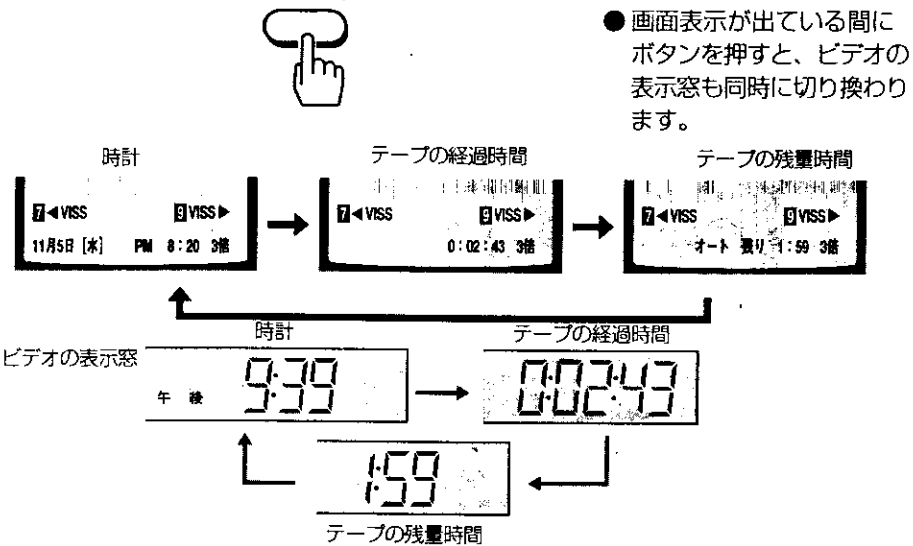
テレビ画面表示

ビデオを操作するたびに、下の表示が自動的に約5秒間出ます。



時計、経過時間、テープの残量時間を切り換える

画面表示ボタンを押す 画面表示



お知らせ

画面表示について

- 画面に表示された文字は録画されません。
- 時計が表示されているとき、再生/録画/早送り/巻戻しを行うと自動的に経過時間に切り換わります。時計または残量表示に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。

スロー再生、CMスキップ表示

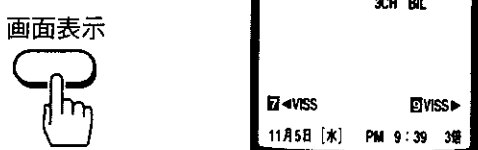
再生中に画面表示ボタンを押す



- 左の画面が約5秒間現れます。
- 4ボタンを押すと、スロー再生、6ボタンを押すとスキップ再生になります(詳しくは27ページ参照)。

頭出し機能

停止中に画面表示ボタンを押す

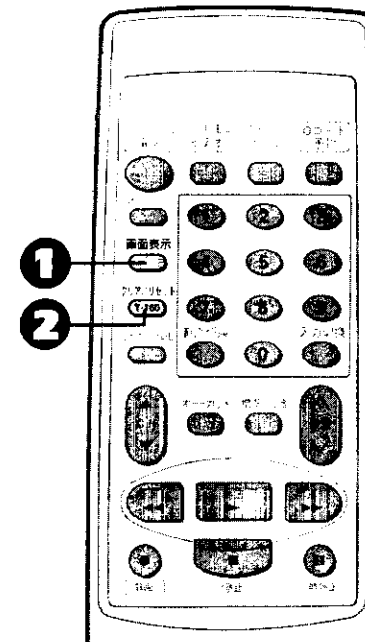


- 左の画面が約5秒間現れます。
- 7ボタンまたは9ボタンを押すと、頭出しになります(詳しくは29ページ参照)。

残量時間/経過時間を表示する.....

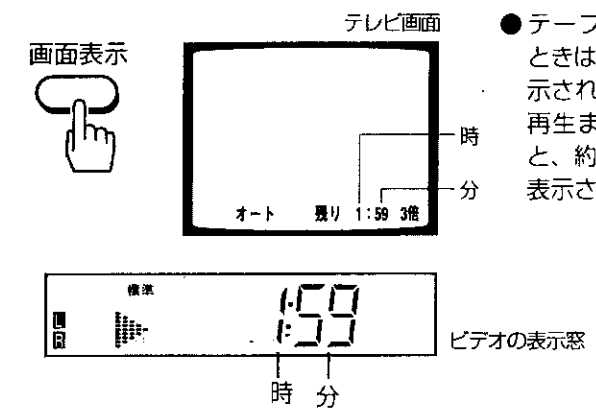
テープの走行中、テープの残量を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

- テープの残量時間は、録画や再生を始めて約1分後に表示されます。テープが動き始めてしばらくは、「--:--」の表示が出ます。



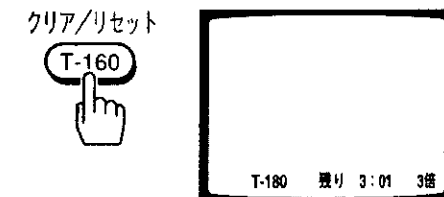
テープの残量時間を表示する

1 画面表示ボタンを押して、残量時間を表示する



- テープを入れたばかりのときは、「--:--」が表示されます。再生または録画を始めると、約1分後に残量時間が表示されます。

2 クリア/リセット/T-160ボタンを押して、テープの長さを切り換える



テープの長さ	表示
T-120以下	オート
T-140,T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残量時間が表示されます。

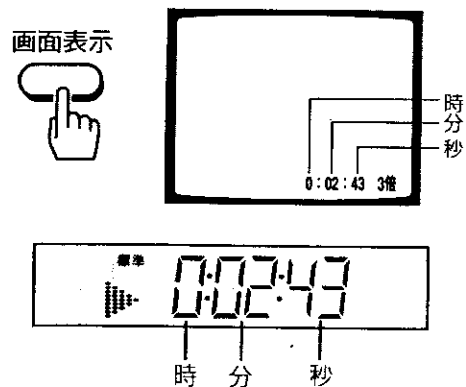
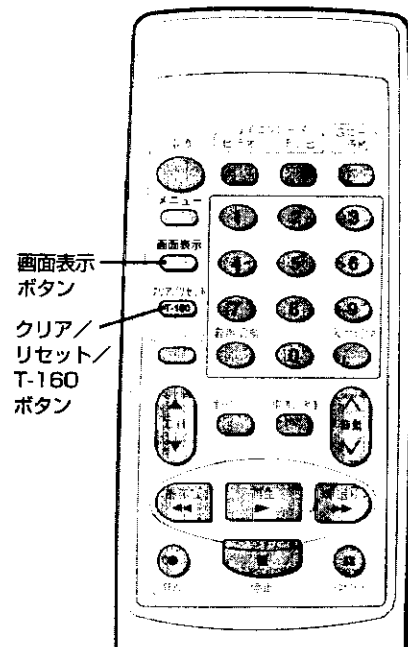
お知らせ

- テープの残量時間について
- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残量時間が正しく表示されません。
 - 早送り/巻戻しでは、正しく表示できないこともあります。

残量時間／経過時間を表示する (つづき).....

経過時間を表示する

画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



●経過時間がテレビ画面とビデオの表示窓の両方に表示されます。

お知らせ

経過時間表示について

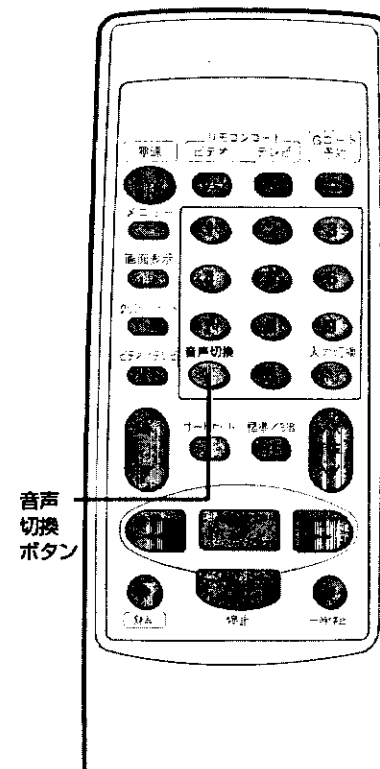
- テープを取り出すと、経過時間は自動的に「0:00:00」にリセットされ、時計表示になります。
- 経過時間は、テープに何も録画されていない部分では動作しません。このときテープを再生すると、ビデオの表示窓の秒の数字の位置に「7→」→「L→」と表示されます。
- 録画または再生中に、見たい場面でクリア/リセット/T-160ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから見たい場面を探すとき便利です。

音声を選ぶ.....

番組を見ているときやテープを再生しているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が自動的に聞こえます。

二重音声・ステレオ音声を選ぶ

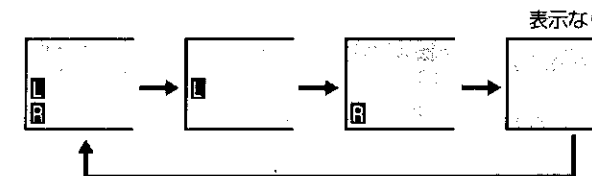
再生中やテレビ番組を見ているとき、音声切換ボタンを押す



音声切換



- ボタンを押すごとに、ビデオの表示窓の「L」「R」の表示が下図のように変わります。聞きたい音声の表示を選んでください。
- 「表示なし」以外はHi-Fiサウンドです。



聞きたい音声		表示
ステレオ番組	二重音声番組	
ステレオ	主音声と副音声	L R
左の音声(Lチャンネル)	主音声だけ	L
右の音声(Rチャンネル)	副音声だけ	R
モノラル(ノーマルサウンド)	主音声だけ(ノーマルサウンド)	なし

お知らせ

録画中の音声切換

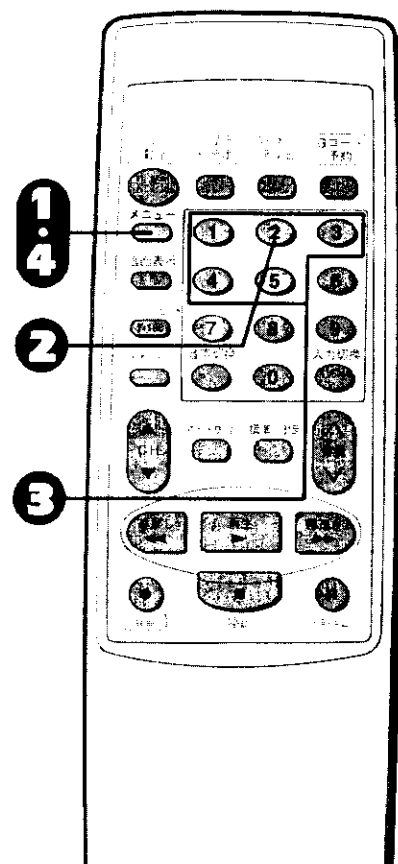
- 録画中に音声切換ボタンを押してもステレオ放送はステレオ、二重音声放送は主音声と副音声録音されます。

映像・音声入力端子のないテレビと接続しているとき

- 二重音声番組を見るときは、L または R を選んでください。L R を表示させると左右の音声が混じって聞こえます。

ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)

ビデオの動作や機能をお好みに合わせて選ぶことができます。



お知らせ

- メニュー画面やお好みセレクトの画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。
- 工場出荷時は②の画面に合わせてあります。

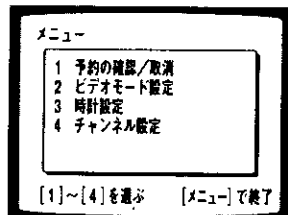
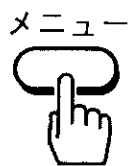


- ・テレビの電源を入れる
- ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



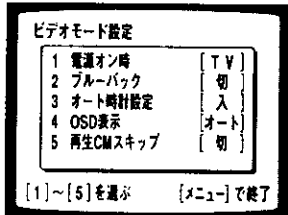
- ・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



- メニュー画面が現れます。

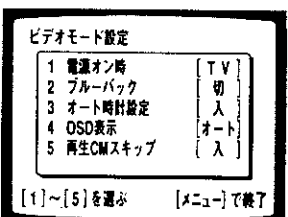
2 2ボタンを押す



- お好みセレクト(ビデオモード設定)の画面が現れます。
- 各項目の説明は、次ページをご覧ください。

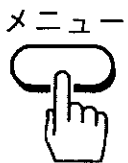
3 合わせたい項目の番号(1~5ボタン)を押して、設定を変える

たとえば 5 再生CMスキップの設定を変えたいときは



- []内の表示が現在の設定を示しています。ボタンを押すたびに[]内の文字が変わります。

4 設定が終わったらメニューボタンを押す



- 元の画面に戻ります。

ビデオモード設定画面の説明

1 電源オン時[ビデオ]または[TV]

【ビデオ】: ビデオの電源を入れるとビデオ/テレビ切換を自動的に「ビデオ」に切り換えます。

【TV】: ビデオの電源を入れるとビデオ/テレビ切換を自動的に「TV」に切り換えます。

2 ブルーバック[入]または[切]

【入】: テレビ放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだりすると、画面がブルーになり、音がミュート(消音)されます(ブルーバック機能)。

- 電波が強すぎる時は、この機能が動かないことがあります。また、再生時にはこの機能は動きません。

【切】: ブルーバック機能は動きません。

3 オート時計設定[入]または[切]

【入】: 本機の時刻が現在時刻とずれているときは、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報に合わせて1日1または2回(午前7時、午後0時)自動的に時計を修正します(ジャストクロック)。

【切】: ジャストクロック機能は動きません。

- 詳しくは、79ページ「ジャストクロックについて」をご覧ください。

4 OSD表示[オート]または[切]

【オート】: ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に現れます。

- 詳しくは46ページ「画面表示を見る」をご覧ください。

【切】: ビデオを操作しても、テレビ画面に表示が出ません。

5 再生CMスキップ [入] または [切]

【入】: 録画したテープを再生すると、CMの部分を自動的にスキップ(早送り再生)します。テレビ画面に「CMスキップ」と数秒間表示されます。

【切】: 再生CMスキップ機能は動きません。テレビ画面に「スキップオフ」と数秒間表示されます。

CMをカットしながら録画する(オートカット機能)

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、ステレオ放送を自動的にカットすることをオートカット機能といいます。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。



● 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。

番組の音声を知る方法

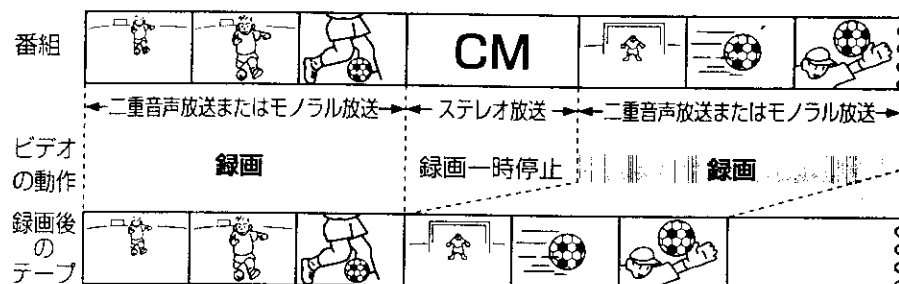
番組の音声は、新聞などでご確認ください。

[番組表の例]

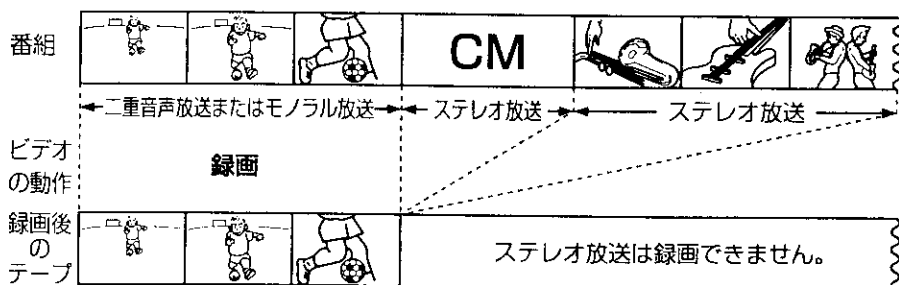
7	00	HITACHIニュース	多	二重音声放送 解説などを聞くことができます。
8	05	海外スペシャルドラマ 「HITACHI street」	二	二重音声放送(二か国語放送) 日本語と英語を聞くことができます。
9	00	ヒットソングタイム ゲスト：H&H	S	ステレオ放送

※表示がない番組はモノラル放送です。

オートカット機能で正しく録画される例



オートカット機能で正しく録画できない例



オートカット機能についてのご注意

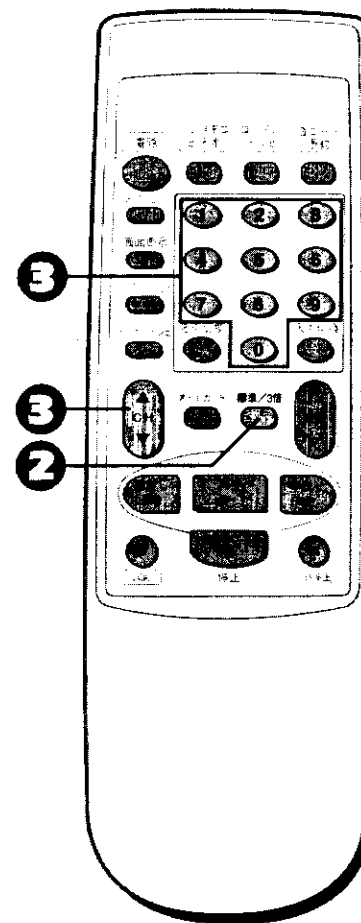
- CMがステレオ放送ではないとき、CMはカットされず録画されます。
- 電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。
- ケーブルテレビのBSチャンネル、NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。(オートカット機能を使うと録画されない番組があります。)
- 文字多重放送(字)と表示されています)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
- 「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
- 番組表によっては、ステレオ放送の番組でも[S] (ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。

お知らせ

- 番組表の例は、説明のためのもので実際のもとは異なります。
- 外部入力(L1、L2)で見ている番組は、オートカット機能が動きません。



● オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にすることはできません。録画するチャンネルを切り換えるときは、停止ボタンを押してから別のチャンネルに切り換えてください。停止ボタンを押すとオートカット機能は解除されます。



見ている番組をCMをカットしながら録画する

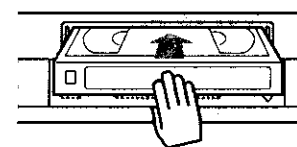


- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

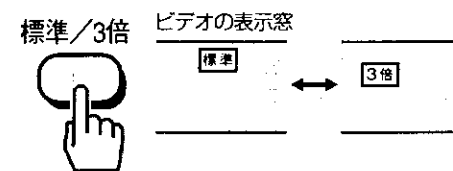


1 「つめ」の折れていないテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。



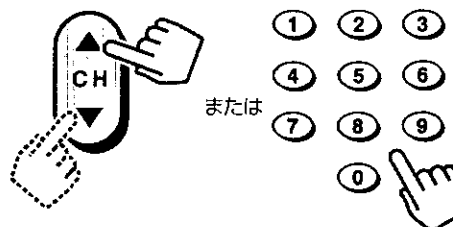
2 録画モードを合わせる



- ボタンを押すたびにビデオの表示窓が「標準」と「3倍」に切り換わります。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。



3 録画したいチャンネルを選ぶ

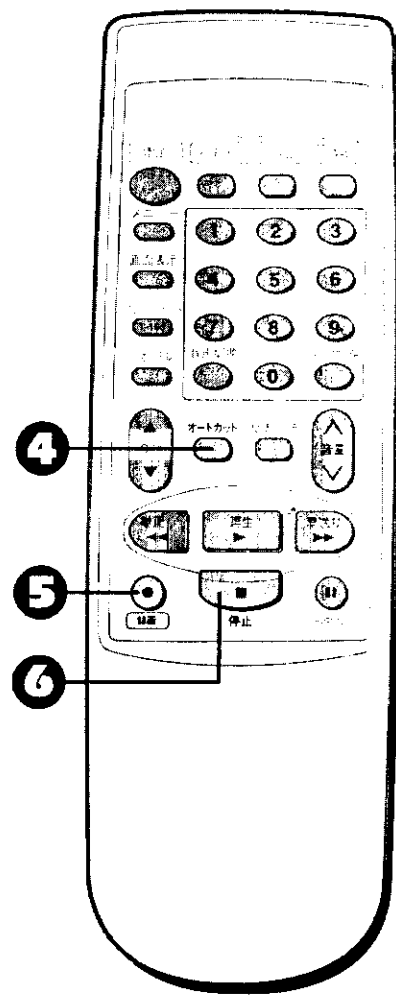


- 0~9の数字ボタンでひつけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押しします)。

CMをカットしながら録画する(オートカット機能)(つづき)

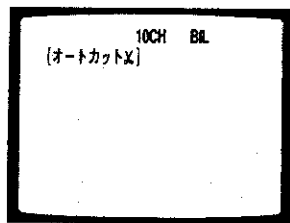


- オートカット機能を使うと録画中にCMをカットできますが、CMをカットした部分には、約1秒間CMが録画されます。
- CMカット[一時停止X]の状態が10分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、つなぎの部分が少し乱れることがあります。

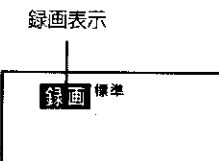


4 オートカットボタンを押して[オートカットX]を表示させる

オートカット

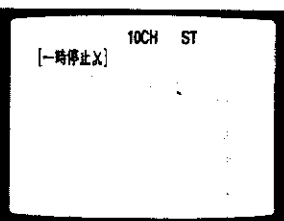


5 [オートカットX]表示中(5秒以内)に録画ボタンを押す



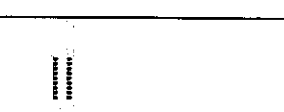
- 表示窓に「録画」が現れ、録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。

CMカット中のテレビ画面

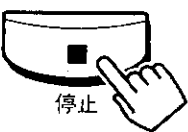


- ステレオ放送のCMをカットしているときに表示されます。

CMカットのビデオの表示窓



6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す

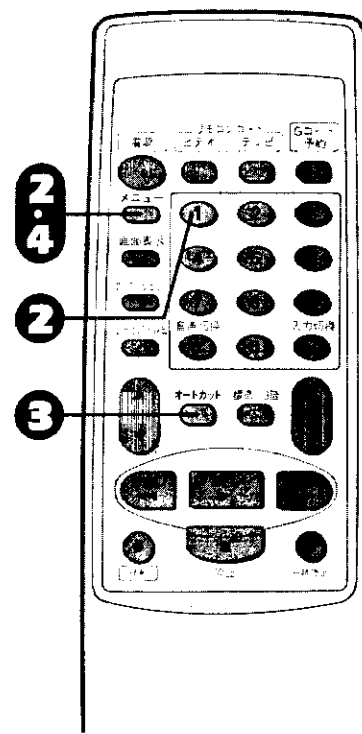


- 録画が終了し、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、53、54ページの③～⑤を行ってください。

お知らせ

オートカット機能を解除するとき

- 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
- CMカット中に[一時停止X]が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。



録画予約した番組をCMをカットして録画する



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

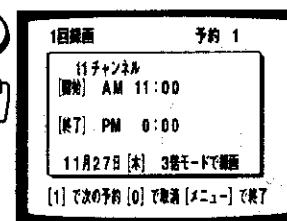
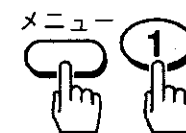


- ビデオの電源を入れる

1 タイマー録画予約する

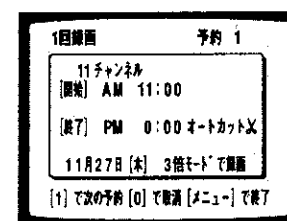
- 35～44ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「1 予約の確認/取消」を選ぶ



- 予約内容が現れます。

3 オートカットボタンを押して[オートカットX]を表示させる



- 続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、1ボタンを押して別の予約内容を表示させてからオートカットボタンを押して[オートカットX]を表示させてください。

4 設定が終わったら、メニューボタンを押す



- 元の画面に戻ります。

お知らせ

- タイマー予約中、テレビ画面に予約内容が表示されているときオートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

オートカット機能を解除するとき

録画が始まる前

- 手順②を行ってからオートカットボタンを押して[オートカットX]表示を消してください。

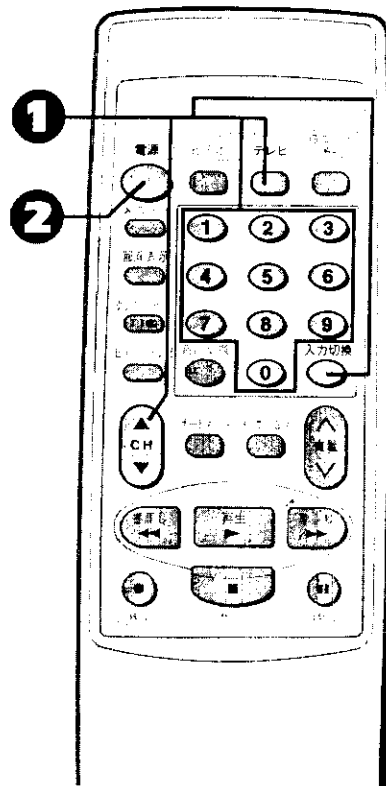
録画が始まったあと

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

リモコンで他社のテレビを操作する……

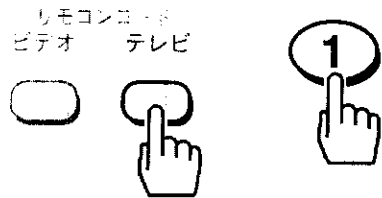
本機のリモコンで当社製以外にも他社9社のテレビを操作できます。使い始めるときに次のように設定してください。操作するたびに設定する必要はありません。

- お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが動かないことがあります。



テレビコードを設定する

- 1 テレビボタンを押しながら数字ボタンを押してテレビコードを設定する



- ご使用のテレビのメーカーに合った数字ボタンを押してください。
- たとえば1ボタンを押すと日立製テレビが操作できます。

メーカー	数字ボタン	メーカー	数字ボタン	メーカー	数字ボタン
日立	①	東芝	⑤	シャープ	⑨
松下	②	三菱	⑥	シャープ	⑩
ビクター	③	サンヨー	⑦	富士通ゼネラル	CH▲
ソニー	④	サンヨー	⑧	NEC	CH▼
				松下	入力切換

- 2 電源ボタンを押す



- 電源ボタンを押してテレビの電源の「入/切」ができれば、このリモコンでテレビの操作ができます。

テレビを操作する

- テレビボタンを押してから、リモコンのボタンを押す

操作できるテレビの機能

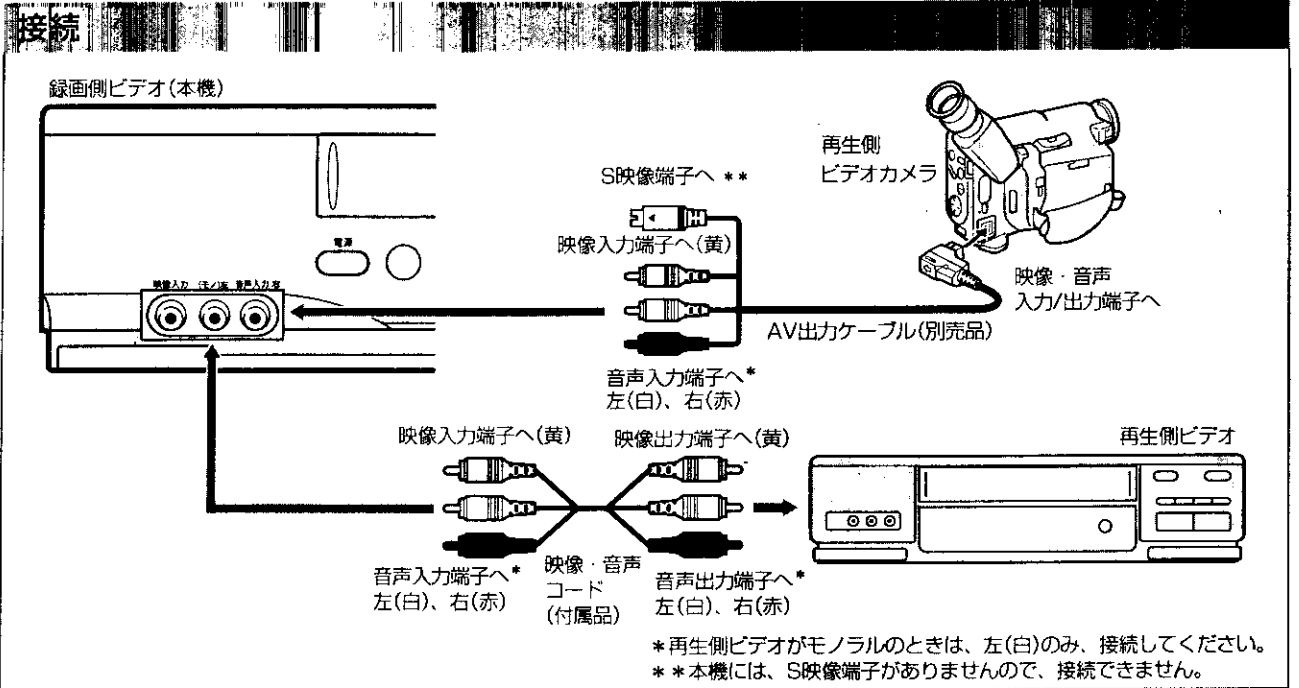
- テレビ音量ボタンは、ビデオボタンまたはテレビボタンのどちらを押したときでもテレビの音量を調節できます。
- 電源ボタン、チャンネルボタン、入力切換ボタンは、テレビボタンを押したとき、テレビの操作ができます。

ダビングする……

テープの映像と音声を別のテープにダビングできます。

- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消していないと、画面の表示まで録画されます。
- 「L1」、「L2」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」を表示できません。74ページをご覧ください。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする



お 知 ら せ

- 画質を重視するときは、本機の録画モードを「標準」で録画することをおすすめします。
- 本機にテレビを接続すると、ダビングの画像を確認できます。
- 録画側ビデオは後面の入力端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

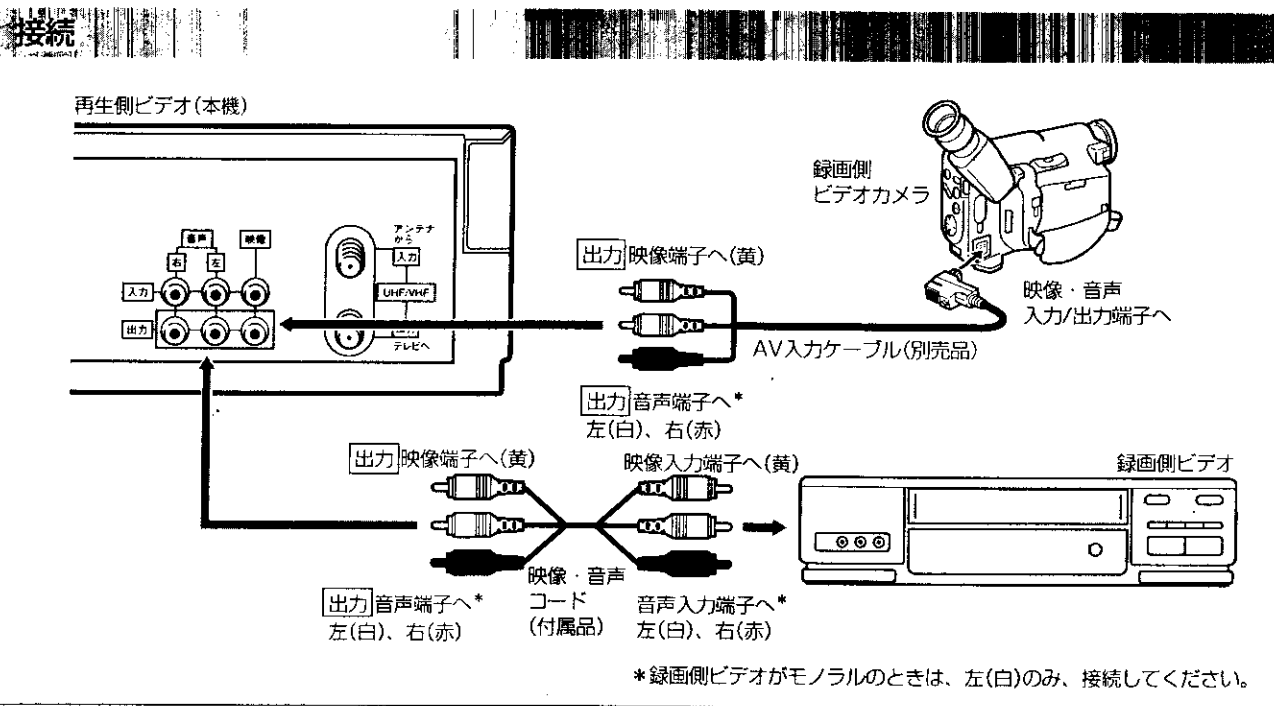
ダビングする

- 1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる
 - ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→チャンネル番号と切り換わります。
- 2 (再生側で)再生を始める
- 3 (本機で)録画ボタンを押す
 - 録画

便利な使いかた

ダビングする(つづき)

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

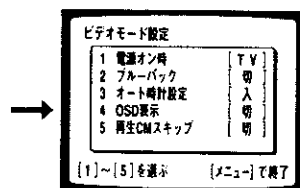


お知らせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードを「標準」で録画することをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビを接続すると、ダビングの画像を確認できます。

ダビングする

- 1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ
- 2 (本機で)OSD表示モードを[切]にする



● 設定のしかたは、50ページ「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」をご覧ください。

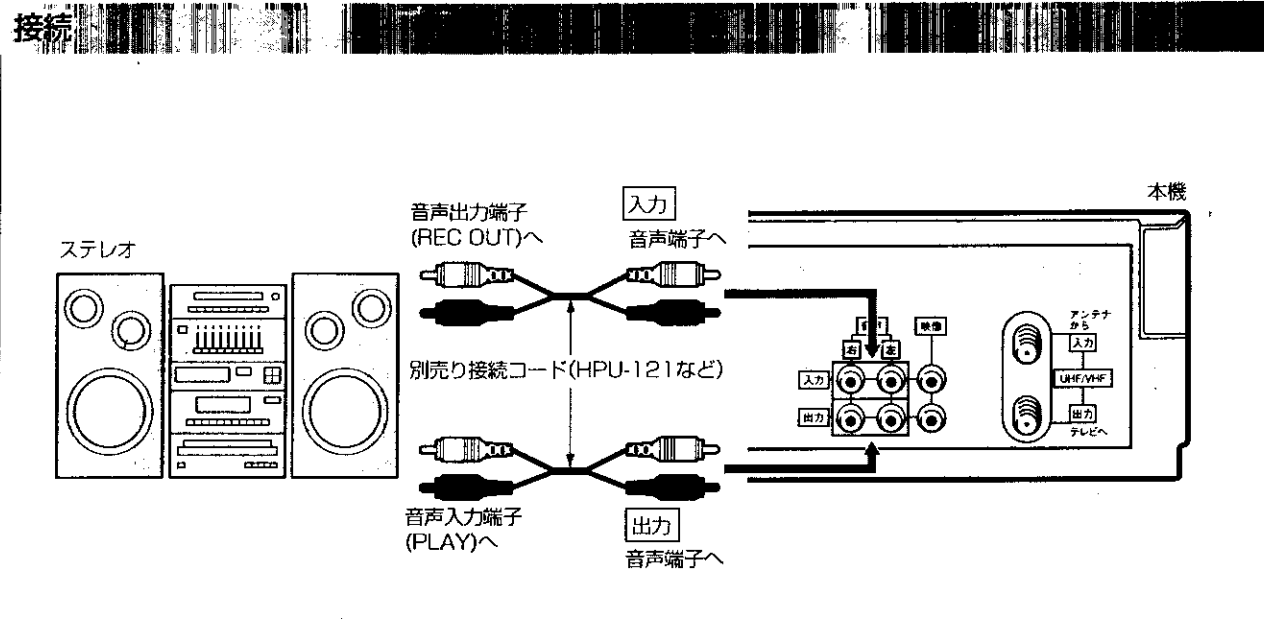
- 3 (本機で)再生ボタンを押す



- 4 (録画側で)録画を始める

ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)

ビデオをステレオのテーブデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。

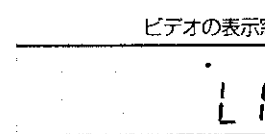


お知らせ

- 録音した音声を聞く
- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
 - リモコンの音声切換ボタンでHi-Fi サウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(49ページ参照)。

ビデオに音声を録音する

- 1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



● ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→チャンネル番号と切り換わります。

- 2 (本機で)録画ボタンを押す

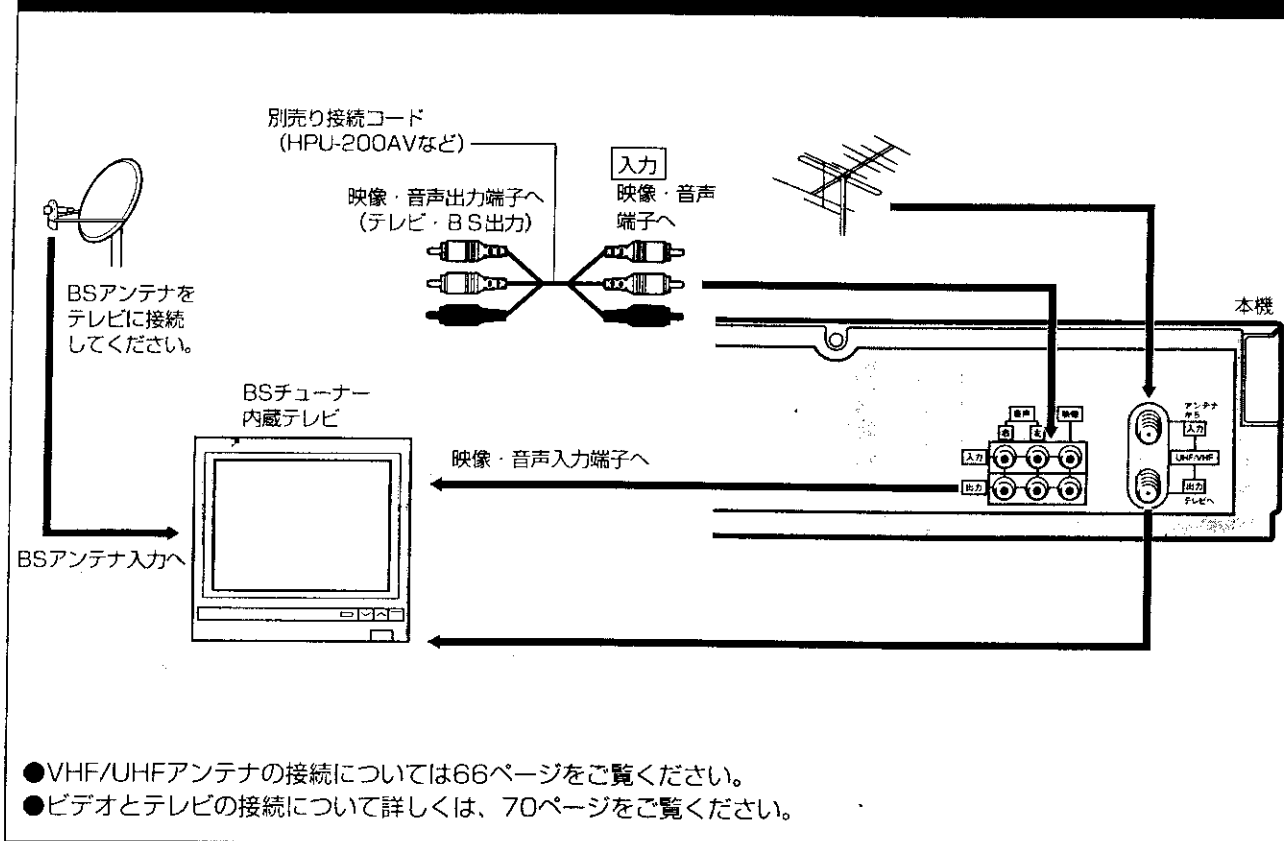


● 録音が始まります。Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

BS放送を録画する

BS放送を録画するには、本機にBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーを接続してください。

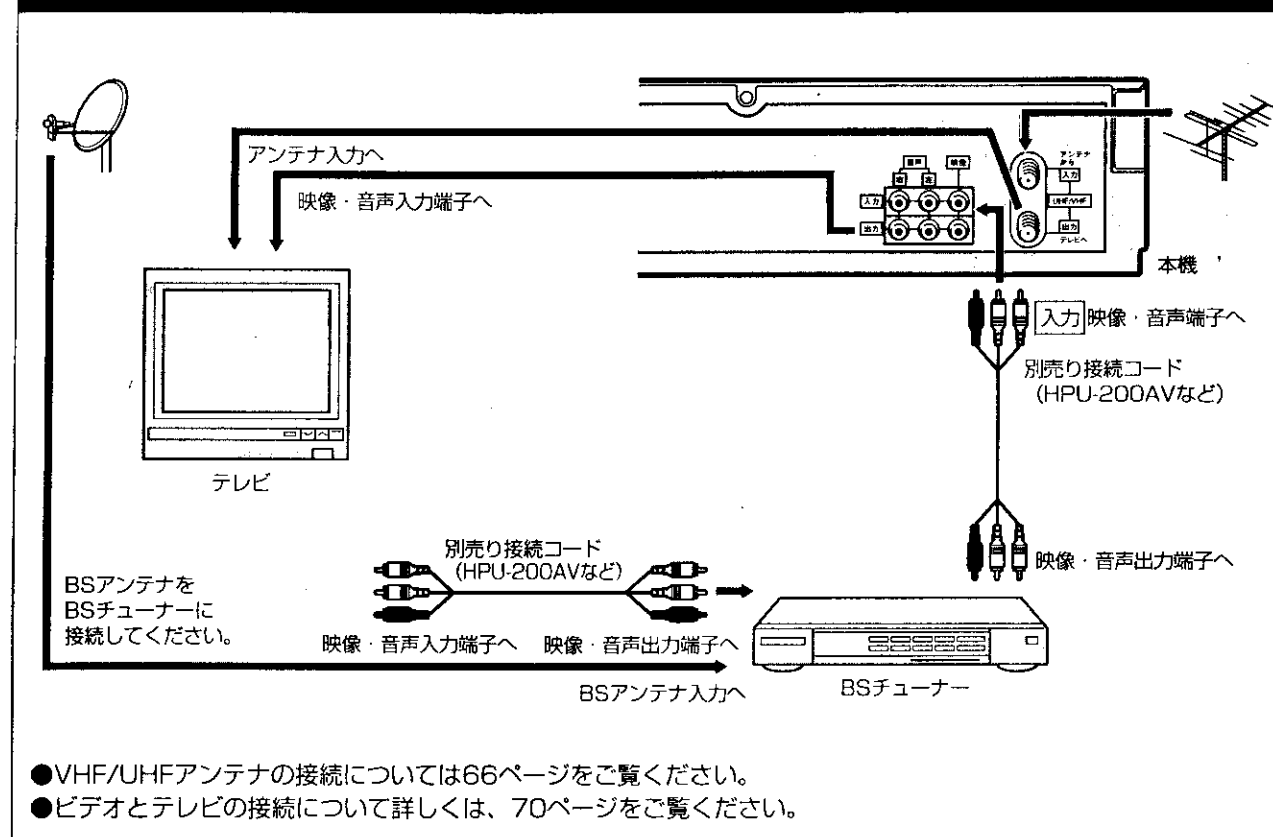
BSチューナー内蔵テレビをつなぐ



- VHF/UHFアンテナの接続については66ページをご覧ください。
- ビデオとテレビの接続について詳しくは、70ページをご覧ください。

BS放送の録画のしかたは62ページをご覧ください。

BSチューナーをつなぐ

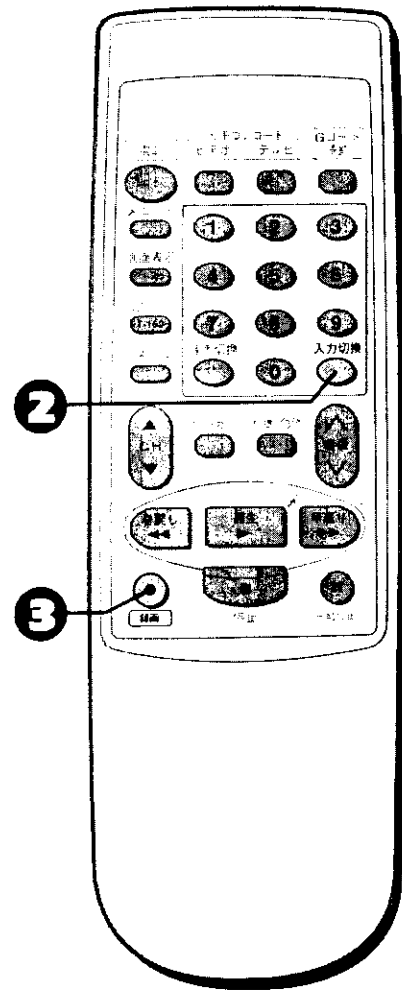


- VHF/UHFアンテナの接続については66ページをご覧ください。
- ビデオとテレビの接続について詳しくは、70ページをご覧ください。

BS放送の録画のしかたは62ページをご覧ください。

BS放送を録画する (つづき)

BS放送を録画する



1 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビで、録画したいBSチャンネルを選ぶ

2 入力切換ボタンを押して、「L1」(外部入力)を表示させる



3 録画ボタンを押す

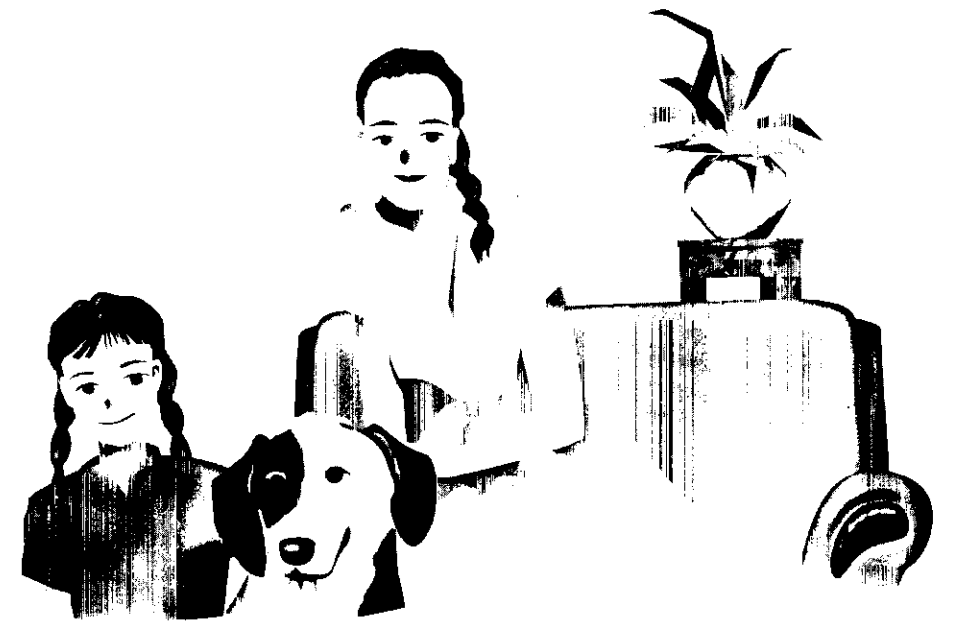


●録画が始まります。

お知らせ

- 録画中にBSチューナーまたはテレビのチャンネルを切り換えると、選んだチャンネルが録画されません。

ご自分で設置するには
設置・準備編



はじめに
見る・録る
タイマー録画
便利な使

設置・準備

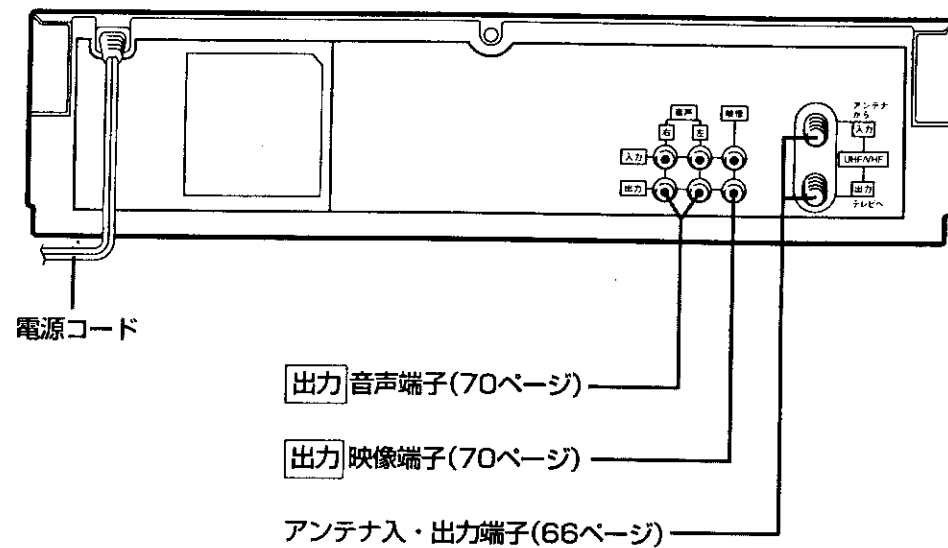
ご参考

設置を始める前に

このページで設置の手順を確かめてから始めましょう。

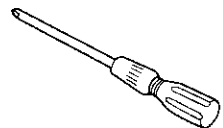
注意 テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ビデオ後面の各部のなまえ

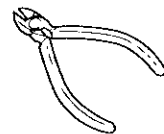


● 設置するときに必要な工具

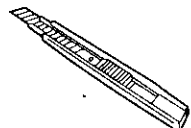
● プラスドライバー



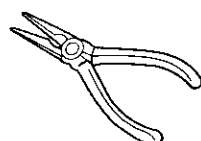
● ニッパ



● ナイフ



● ペンチ



まず、基本の設置・準備を行ってください。そのあと、お手持ちの機器や目的に合わせて必要な設置を行ってください。

基本の設置 ・ 準備

(VHF/UHF
放送を見る・
録画するために)

- | | | |
|---|---|-----------|
| 1 | ビデオにアンテナとテレビをつなぐ | ページ
66 |
| 2 | あなたのテレビに映像・音声入力端子がないとき(アンテナ端子だけのとき)
→ビデオ専用チャンネルを設定する | 69 |
| | あるとき→映像・音声入力端子つきテレビをつなぐ | 70 |
| 3 | 受信チャンネルを合わせる | 72 |
| | チャンネルを設定する | 72 |
| | チャンネルを飛ばす | 74 |
| | チャンネルを微調節する | 75 |
| | 受信チャンネルの表示を変える | 76 |
| 4 | 時計を合わせる | 78 |

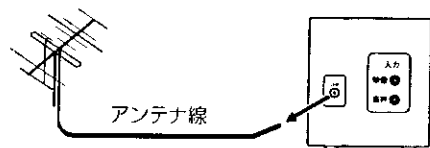
CATVを
見るとき

→ CATVをご使用のとき 77

ビデオにアンテナとテレビをつなぐ

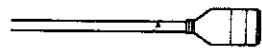
アンテナ線の種類や、テレビのアンテナ端子の形状によって、つなぎかたが変わります。お手持ちのテレビに合わせたつなぎかたをしてください。

1 テレビからアンテナ線を取りはずす

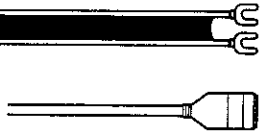


テレビからはずしたアンテナ線

UHFとVHFが混合されたアンテナ線
またはVHF単独のアンテナ線



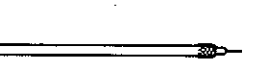
UHFとVHFが別々のアンテナ線



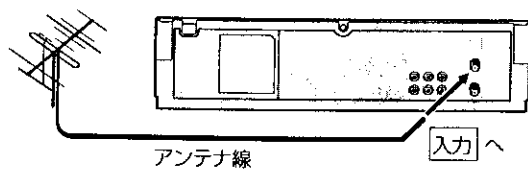
UHF単独のアンテナ線



VHF単独のアンテナ線

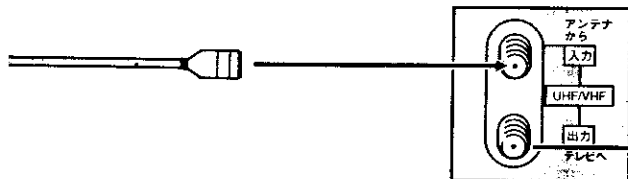


2 取りはずしたアンテナ線をビデオに接続する

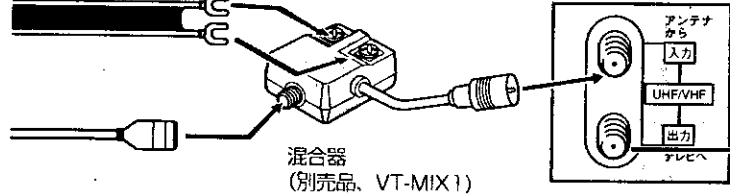


アンテナ線 入力へ

本機のアンテナ入力・出力端子

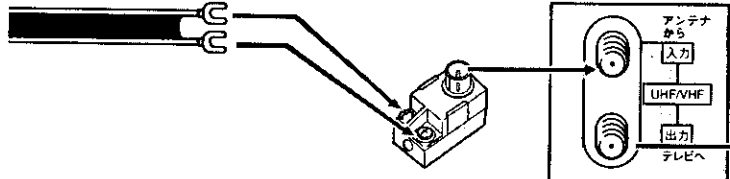


本機のアンテナ入力・出力端子



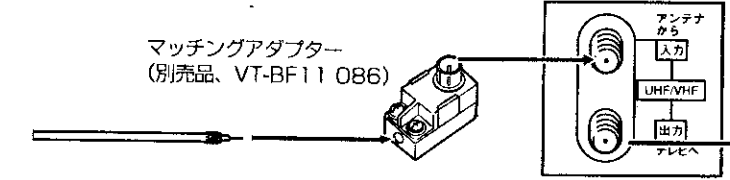
混合器
(別売品、VT-MIX1)

本機のアンテナ入力・出力端子



マッチングアダプター
(別売品、VT-BF11 086)

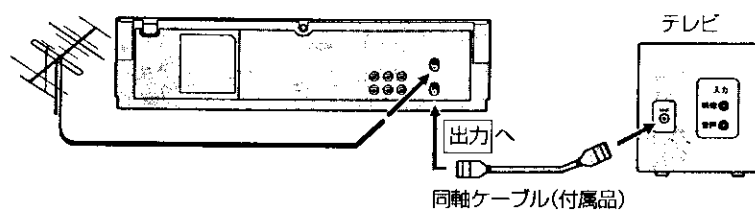
本機のアンテナ入力・出力端子



マッチングアダプター
(別売品、VT-BF11 086)

(取り付けは68ページ③)

3 付属の同軸ケーブルを使って、ビデオとテレビを接続する

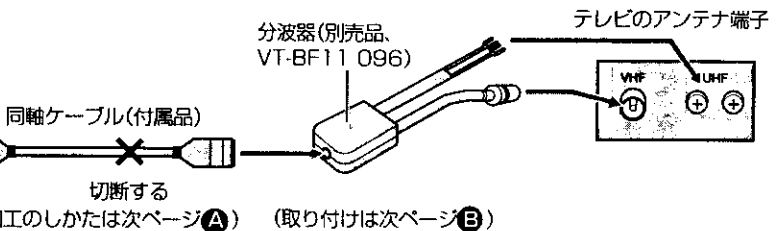


同軸ケーブル(付属品)



同軸ケーブル(付属品)

テレビのアンテナ端子

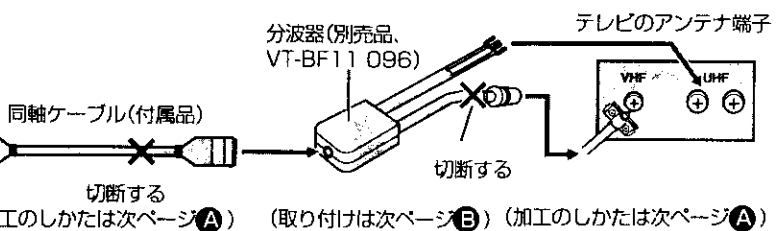


同軸ケーブル(付属品)

分波器(別売品、VT-BF11 096)

テレビのアンテナ端子

切断する
(加工のしかたは次ページ①) (取り付けは次ページ②)

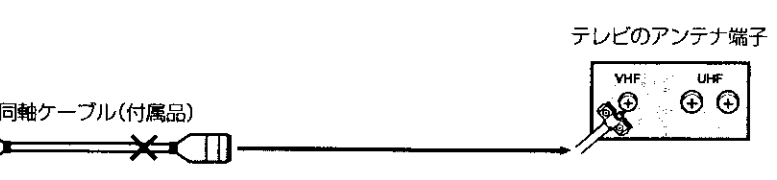


同軸ケーブル(付属品)

分波器(別売品、VT-BF11 096)

テレビのアンテナ端子

切断する
(加工のしかたは次ページ①) (取り付けは次ページ②) (加工のしかたは次ページ①)



同軸ケーブル(付属品)

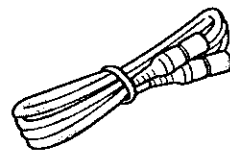
テレビのアンテナ端子

切断する
(加工のしかたは次ページ①)

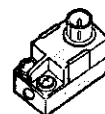
お知らせ

このページで使用する部品

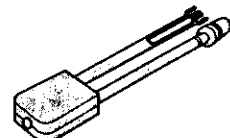
- 同軸ケーブル(付属品)



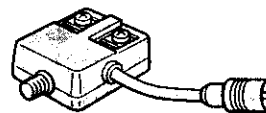
- マッチングアダプター(別売品)



- 分波器(別売品)



- 混合器(別売品)



テレビの映りが悪いとき

- ビデオとテレビを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときは、ブースター(別売)を使用するとノイズが少なくなります。

ビデオにアンテナとテレビをつなぐ(つづき)

同軸ケーブルや分波器のケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

- 1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る
約12 mm
- 2 網線を折り返す
12 mm
- 3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る
約8 mm
- 4 芯線を出す
10 mm 4 mm 8 mm

B 分波器(別売品、VT-PF 096)に同軸ケーブルを取り付ける

- 1 つめを開きながらふたを外す
- 2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける
芯線
ベンチでしめる
- 3 ふたを元通りに付ける

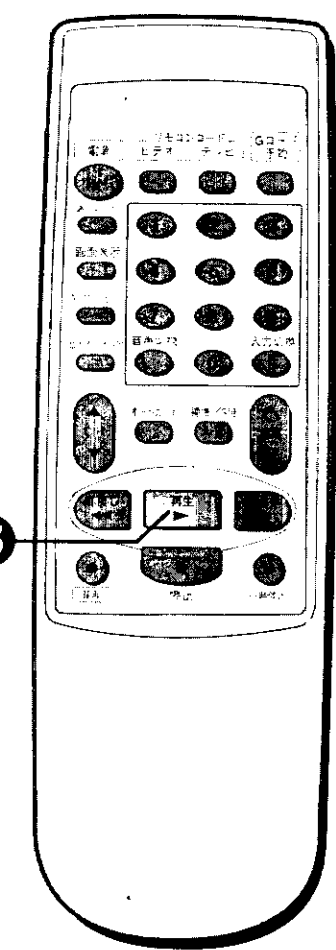
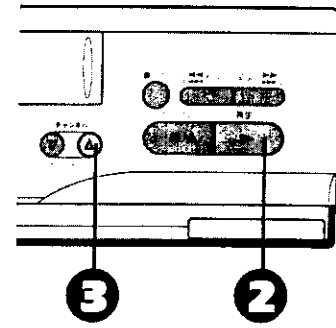
C マッチングアダプター(別売品、VT-PF 086)に同軸ケーブルを取り付ける

- 1 つめを開きながらふたを外す
- 2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ
端子から外す
接続線
プラスチック
- 3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける
芯線をはさみ込んで巻き付ける
端子
ベンチでしめる
- 4 ふたを元通りにつける

ビデオ専用チャンネルを設定する……

映像・音声入力端子のないテレビをアンテナ線だけで接続したときは、ビデオチャンネルの設定が必要です。ビデオで選んだ番組を見るときや、テープを再生するときは、テレビのチャンネルをこのビデオチャンネルに合わせてください。

重要 テープが入っていると、設定できません。
テープを取り出してから操作を始めてください。



1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ

2 ビデオの電源が「切」の状態ではビデオ本体の再生ボタンを押す

●自動的に電源が入り、ビデオの表示窓に「02ch」が表示されます。

3 ビデオ本体のチャンネル△ボタンを押して、テレビで選んだチャンネルを表示させる

●ボタンを押すたびに02ch(2チャンネル)→OFF(切)→01ch(1チャンネル)の順に表示されます。
●ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)になります。

4 録画済みのテープを入れる

5 再生ボタンを押す

●再生が始まります。映像と音声が出れば、ビデオチャンネルが正しく設定されています。

ビデオの再生画像が映らないとき

- アンテナ線の接続を確認してください(66ページ)。
- テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

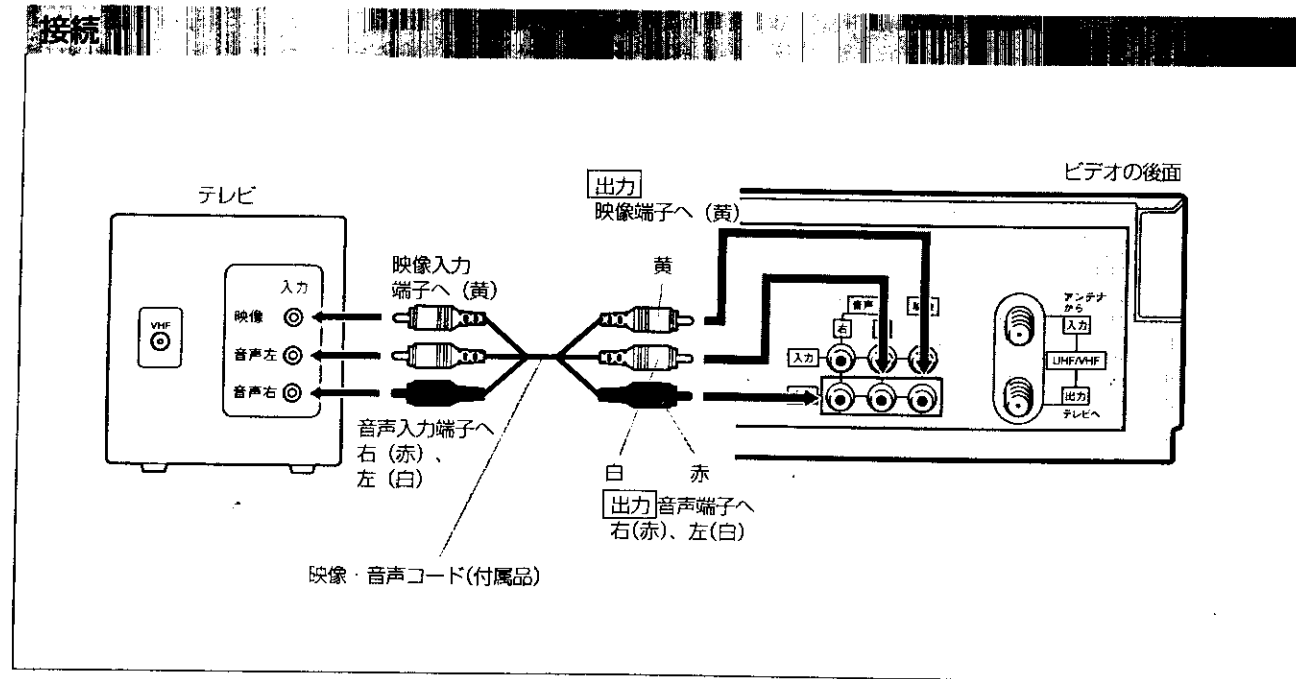
ビデオ専用チャンネルを設定する

設置・準備

映像・音声入力端子つきテレビをつなぐ

映像入力端子、音声入力端子の付いているテレビでは、映像・音声コードを接続すると、よりよい画質、音質で楽しめます。
アンテナ線をビデオに接続してから(66~67ページ)、下記のように映像・音声コードを接続してください。

重要 接続するときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



重要 テープが入っていると正しく接続できたか確認できません。テープを取り出してから操作を始めてください。

接続が終わったら

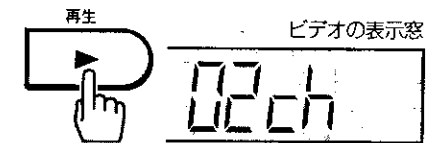
正しく接続できたか確認します。

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



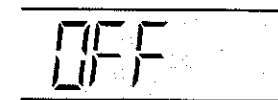
●テレビの入力切換を「ビデオ」にすると、ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

2 ビデオの電源が「切」の状態ではビデオ本体の再生ボタンを押す



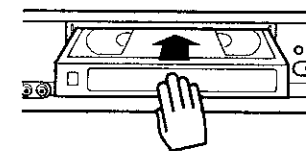
●自動的に電源が入り、ビデオの表示窓に「02ch」が表示されます。

3 ビデオ本体のチャンネル△ボタンを押して、「OFF(切)」を表示させる



●「OFF(切)」を選ぶと、録画しながら別の番組を見るとき、ビデオ/テレビ切替ボタンを押さなくても、テレビで見たいチャンネルを選ぶことができます。

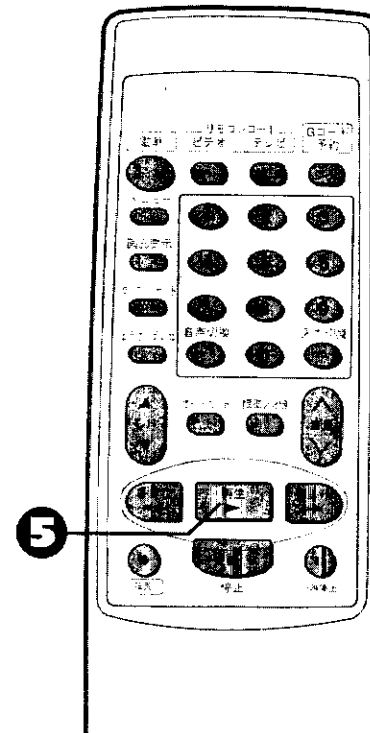
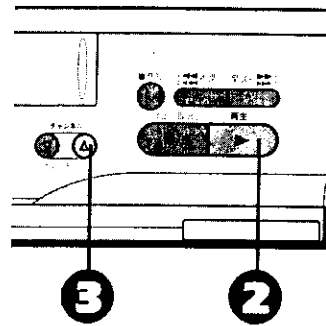
4 録画済みのテープを入れる



5 再生ボタンを押す



●再生が始まります。映像と音声が出れば、ビデオとテレビが正しく接続されています。




お知らせ

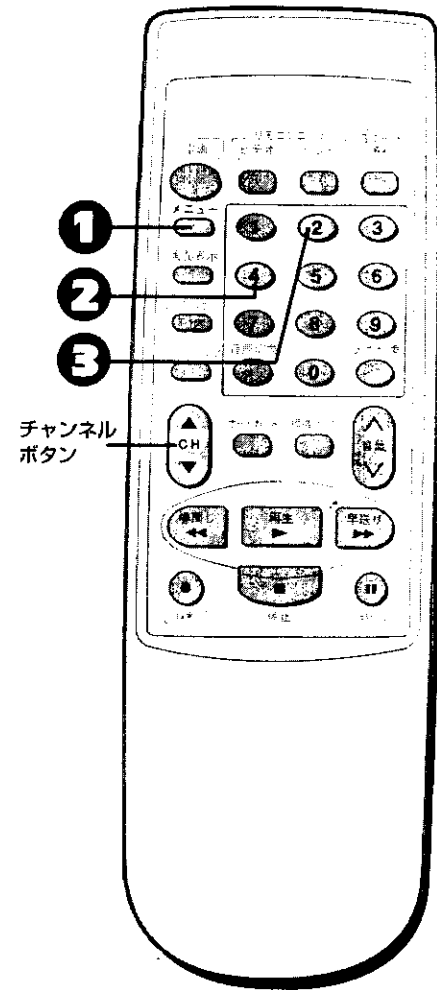
ビデオで選んだ番組がテレビに映らないとき
●映像・音声コードの接続を確認してください(66ページ)。

受信チャンネルを合わせる


お住いの地域により、受信できるチャンネルが違います。
 (たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では受信できるチャンネルが違います。)
 このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。
 工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整されています。


 アンテナとテレビが正しく接続されているか、確認してください。

重要




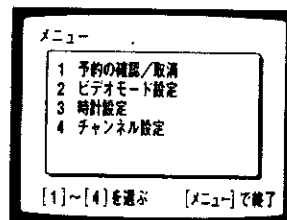
チャンネルを設定する

-  テレビで
 - ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

-  ビデオで
 - ・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す


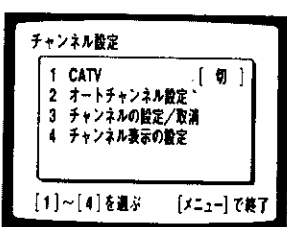
メニュー

- 「メニュー」画面がテレビに現れます。

2 4ボタンを押す


チャンネル設定

- 「チャンネル設定」画面が現れます。

3 2ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選ぶ

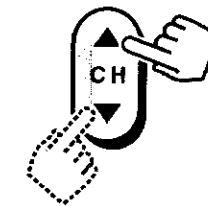
2



- 受信しているチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
- メニューボタンを押すと受信画面になります。

オートチャンネル設定が終わったら

チャンネルボタンを押して、映るチャンネルを確認します。



- ボタンを押すたびに、設定されたチャンネルがテレビに映ります。

■ 放送のないチャンネルが設定されているとき

電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(74ページ参照)。

■ チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき

チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(76ページ参照)。

お知らせ

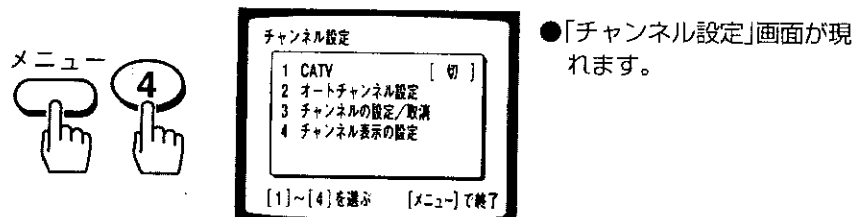
- チャンネルが1つも設定されなかったり、画像がきれいに映らないとき
- アンテナ線の接続を確認してください(66ページ参照)。

受信チャンネルを合わせる (つづき)

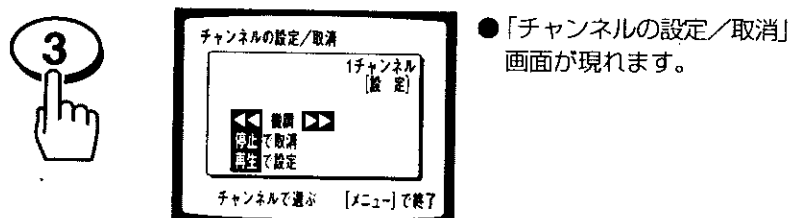
チャンネルをオート設定すると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したり、また、受信状態を微調節したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておく、便利です。

チャンネルを飛ばす

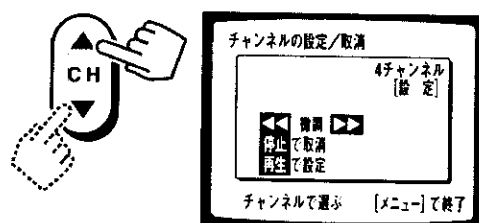
1 「メニュー」画面を出し「4 チャンネル設定」を選ぶ



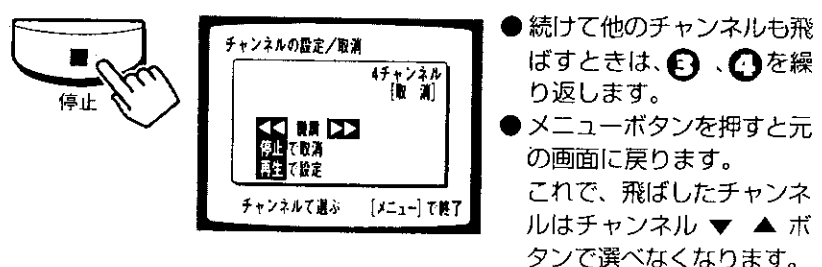
2 3ボタンを押す



3 飛ばしたいチャンネルを選ぶ

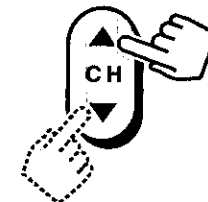


4 停止ボタンを押す

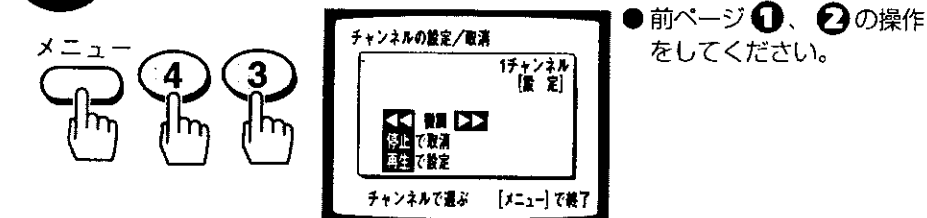


チャンネルを微調節する

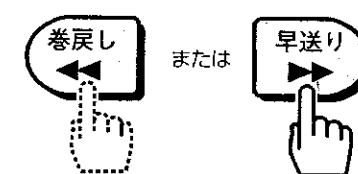
1 映りの悪いチャンネルを選ぶ



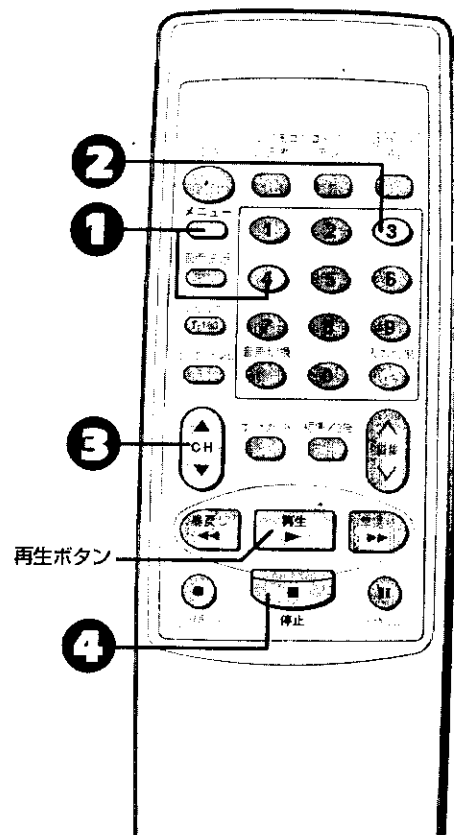
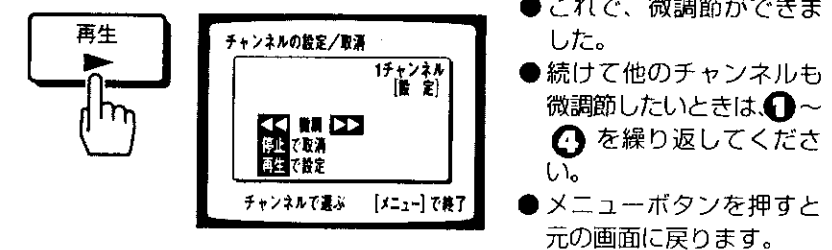
2 「チャンネルの設定/取消」画面を出す



3 画像を見ながら早送り、巻戻しボタンで調節する



4 再生ボタンを押す



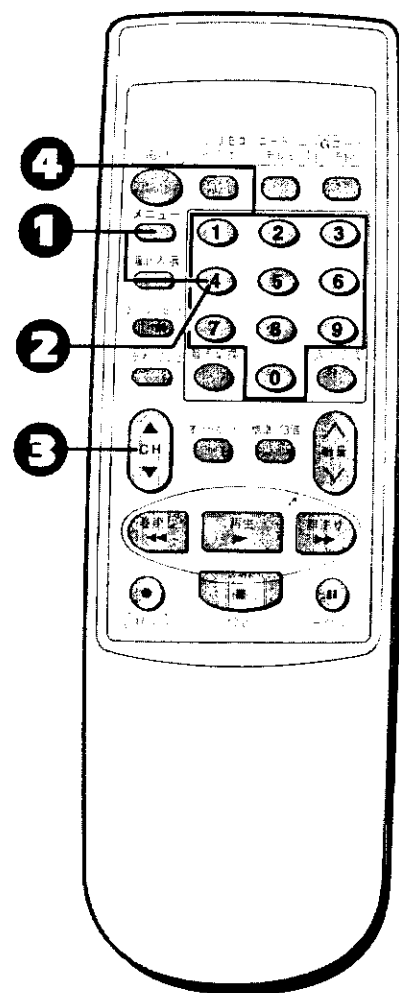
お知らせ

一度飛ばしたチャンネルを、また受信するとき
1 右の手順①、②を行う。
2 元に戻したいチャンネルを選ぶ。
3 再生ボタンを押す。
 外部入力を飛ばすとき
 ●入力切換ボタンを押すと、外部入力(L1、L2)が選ばれます。チャンネルの場合と同様に、外部入力を飛ばしたり、元に戻したりすることができます。

受信チャンネルを合わせる (つづき)

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

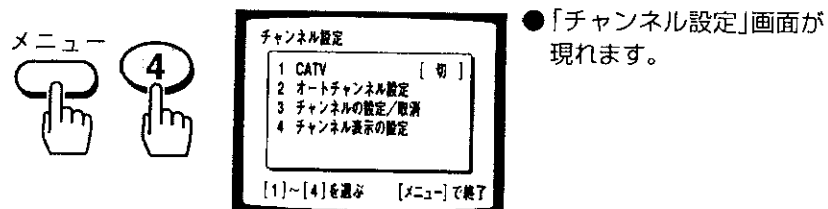
- 重要** チャンネル表示を変えることができるのは、VHF放送(1~12チャンネル)とUHF放送(13~62チャンネル)だけです。CATVのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画中や再生中、外部入力を選んであるときは、下記の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。



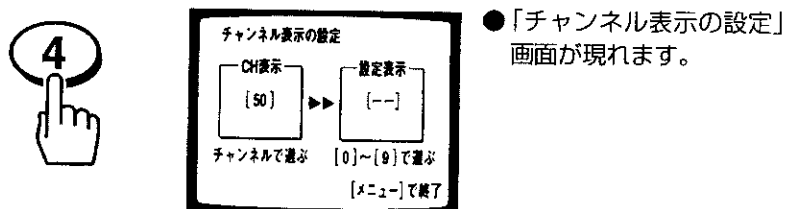
受信チャンネルの表示を変える

たとえば チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

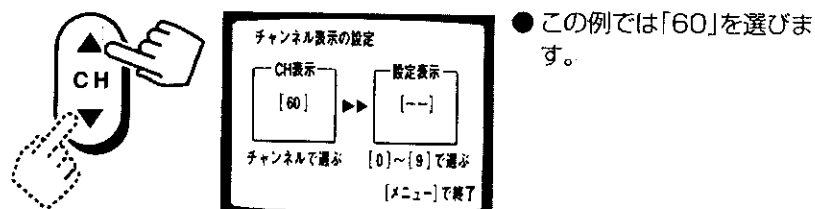
1 「メニュー画面」を出し「4 チャンネル設定」を選ぶ



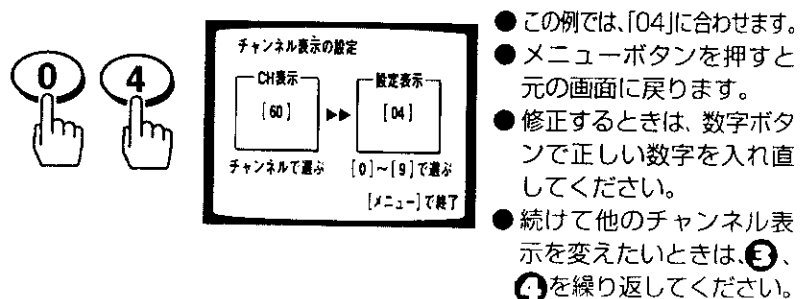
2 4ボタンを押す



3 変えたいチャンネルを選ぶ



4 0~9ボタンで設定したいチャンネルの表示を選ぶ



CATV(ケーブルテレビ)をご使用のとき

CATVのチャンネルを設定する

本機はVHF放送(1~12チャンネル)、UHF放送(13~62チャンネル)のほかにCATV(13~63チャンネル)の受信が可能です。CATVを設定するときは次のようにします。

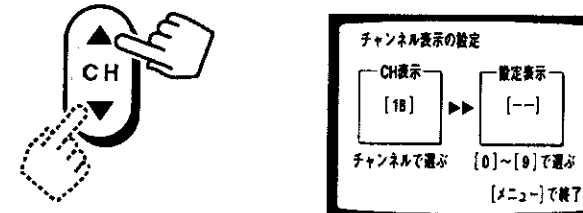
- 72ページの①、②の操作で「チャンネル設定」画面を出す
- 1ボタンを押して「1 CATV」を「入」にする
- 「チャンネルを設定する」(72ページ)に従って受信オートチャンネル設定する
VHFチャンネル(1~12) → UHFチャンネル(13~62) → CATVチャンネル(C13~C63)の順で、CATVも設定されます。

CATVのチャンネルを設定したとき

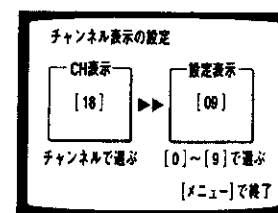
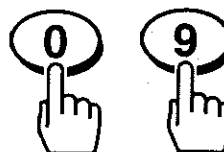
CATVのチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0~9ボタンで13~63チャンネルを選ぶとCATVが選局され、UHF放送の13~62チャンネルは選局できなくなります。リモコンの0~9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの①~④の操作で、UHF放送のチャンネル表示を空いているチャンネルの数字に変えてください。

たとえば UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変えるには

- 76ページの①、②の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す
- チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ



3 0~9ボタンで9チャンネルを選ぶ



- メニューボタンを押す
これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

お知らせ

- CATVの受信契約について
- CATVを受信するときには、使用する機器ごとにCATV会社との加入手続きが必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。CATVの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。
 - お住いの地域によっては、0~9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。

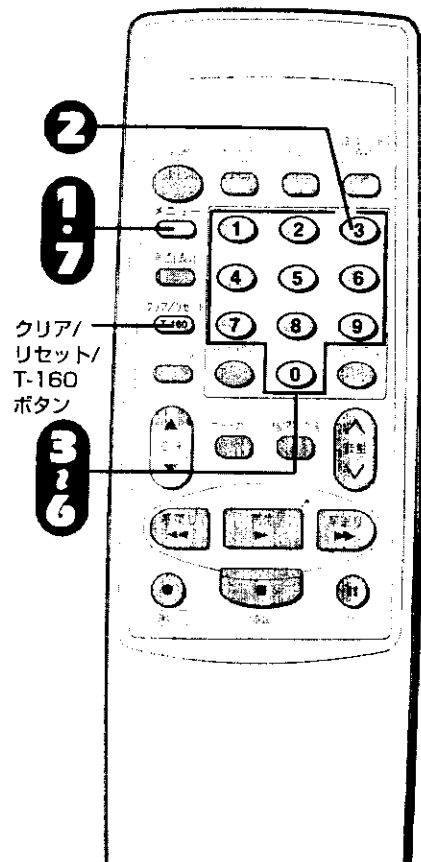
はじめに
見る・録る
タイマー録画
便利な使いかた

設置・準備

1 受信

時計を合わせる

ビデオをコンセントにつないで使い始めるときや、30分以上の停電があったとき、ビデオの時計は「--:--」と表示されます。このときは、テレビの画面を使ってビデオの時計を合わせてください。



クリア/リセット/T-160ボタン

たとえば 西暦1997年11月5日午後8時20分に合わせるとき

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切替を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す

メニュー

●メニュー画面がテレビに現れます。

2 3ボタンを押す

3

●「時計設定」の画面が現れます。

3 年を西暦で合わせる

9 7

●西暦の下2けたを合わせます。
●2000年は00に合わせます。

4 月・日を合わせる

1 1 0 5

●ひとけたの数字を合わせる
ときは、初めに0を押します。
●曜日は自動的に設定されます。

5 午前・午後を合わせる

9 (午後)

●午前(AM)は8ボタン、午後(PM)は9ボタンを押します。

6 時刻を合わせる

0 8 2 0

●ひとけたの数字を合わせる
ときは、初めに0を押します。

7 時報などに合わせてメニューボタンを押す

メニュー

●メニューボタンを押すと、時計がスタートします。
●ビデオの表示窓に時計が表示されます。

時計を修正するには

いったん合わせた時刻を修正するときは、上記の手順①～⑦に従って、もう一度西暦、月、日、午前/午後、時刻の順に、0～9ボタンを押して合わせ直してください。メニューボタンを押すと修正した時刻がスタートします。

お知らせ

ジャストクロックについて
本機にはジャストクロック機能が付いています。ジャストクロック機能を使うには、50ページの「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」の「3 オート時計設定」を「入」にしてください。1日に1または2回(午前7時、午後0時)、NHK教育テレビまたはHNK総合テレビの時報を受信して、自動的に時計を修正します。ただし、次のような場合、ジャストクロックは動きません。

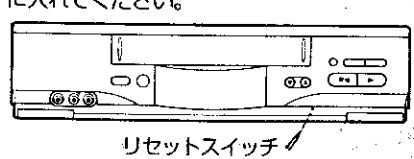
- ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- 時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビおよびNHK総合テレビが設定されていないとき
- 初めてジャストクロック機能が動いたとき、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

ビデオの表示窓に時計が出ていないときは

- 手順⑦のあとで画面表示ボタンを2、3回押してください。時計表示に変わります(46ページ参照)。

故障かな…と思ったら


下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、アフターサービスについては、84ページをご覧ください。

症状	原因	処置	参考ページ
ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない。	●電源コードがコンセントに接続されていない。	●電源コードをコンセントに接続してください。	—
リモコンでビデオの操作ができない。	●乾電池が古くなっている(約1年が目安です)。	●乾電池を交換してください。	19
	●乾電池を交換したときに、電源ボタンを10秒間押さなかった。	●電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。	19
	●テレビボタンを押したあとリモコンを使用した。	●ビデオボタンを押してからリモコンをお使いください。	20
ビデオの操作ができない。	●各種安全装置が働いている。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れたあと、電源を入れてください。	—
リモコンでテレビの操作ができない。	●テレビボタンを押していない。	●テレビボタンを押してください。	20
	●テレビコードが合っていない。	●テレビコードを正しく合わせてください。	56
	●電池を交換したため、テレビコードが消えた。	●電池を交換したあとは、テレビコードを合わせ直してください。	56
巻戻し、早送りができない。	●テープが最初または最後まで巻き取られている。	●テープを確認してください。	—
テープが取り出せない。	●各種安全装置が働いている。	●リセットスイッチをつまようじなどで押してください。それでも取り出せないときは、一度電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れてください。	—
			
テレビ番組の録画ができない。	●アンテナ線の接続が正しくない。	●アンテナ線を正しく接続してください。	66
	●受信チャンネルの調整がずれている。	●受信チャンネルを正しく調整してください。	72
録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	●「つめ」の折れたテープが入っている。	●「穴」をゼロハンテープでふさいでください。	21
タイマー録画ができない。	●ビデオの時計が「—:—」になっている。	●停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと、予約をやり直してください。	78
タイマー録画ができない。(電源を切るとテープが出てくる。)	●「つめ」の折れたテープが入っている。	●「穴」をゼロハンテープでふさいでください。	21
タイマー録画予約ができない。時計設定の画面が出る。(Gコード予約時、タイマー予約時)	●時計を合わせていない。	●時計を合わせてから、録画予約してください。	78
表示窓に「Err」が出る。(Gコード表示窓予約時)	●使われていないGコードを入力した。	●新聞などでGコードを確認して、操作をやり直してください。	40
タイマー録画予約をしたのに録画されていない。	●タイマー録画予約のあと、電源を切らなかつた。	●タイマー録画予約したときは、ビデオの電源を切らないと録画されません。	37 43

症状	原因	処置	参考ページ
ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	●予約のとき、録画したいBS番組のチャンネルをケーブルテレビのチャンネルに合せていない。	●Gコードを入力すると、予約設定画面に「L1」表示が自動的に現れます。このときは、クリア/リセット/T-160ボタンを押して「L1」表示を点滅させたあと、ケーブルチャンネルに合わせてください。	45
タイマー録画したが、録画内容が違っている。(Gコード予約時)	●Gコードを間違えて入力した。	●正しいGコードを入れてください。	35
	●予約内容を確認しないで予約を設定した。	●予約内容を確認してから予約の設定を終了してください。	36
	●Gコードで入力したチャンネルがビデオ本体で設定したチャンネルと違う。	●予約をするときは、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	37
	タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	●タイマー録画の途中でテープがなくなった。	—
タイマー録画を途中でやめることができない。	—	●電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	37 43
クイックタイマー録画を途中でやめることができない。	—	—	33
クイックタイマー録画ができない。	●「つめ」の折れたテープが入っている。	●「穴」をゼロハンテープでふさいでください。	21
	●時計が「—:—」になっている。	●時計を合わせてください。	78
後面端子に接続した機器から録画ができない。	●「L1」(外部入力1)を選んでいない。	●入力切換ボタンで「L1」(外部入力1)を選んでください。	—
前面端子に接続した機器から録画できない。	●「L2」(外部入力2)を選んでいない。	●入力切換ボタンで「L2」(外部入力2)を選んでください。	57
再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	●トラッキング調節がずれている(古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するとき起こることがあります)。	●チャンネル(トラッキング)ボタンで最良に映るよう調整してください。	25
再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	●ビデオヘッドが汚れている。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	11
音が途切れる。	●音声ヘッドが汚れている。	—	—
日本語と外国語が同時に聞こえる。	●音声切換ボタンで「ステレオ」を選んでいる。	●音声切換ボタンを押して、聞きたい音を選んでください。	49
Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声切換ボタンで「モノラル」を選んでいる。	●音声切換ボタンを押して、Hi-Fiサウンドを選んでください。	49

故障かな…と思ったら (つづき)

症状	原因	処置	参照ページ	
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	●ステレオ放送の番組をオートカット機能を使って録画した。 オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組をオートカット機能を使って録画することはできません。	52	
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	●停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	54	
	録画中に番組を切り換えられない。(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない。)	●オートカット機能を使っている。 ●停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	54	
	オートカット機能を使って録画を始めたが、すぐに一時停止になった。	●ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。 ●ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	54	
チャンネル設定	受信チャンネルの表示をかえたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示があわなくなかった。	●一度変えたチャンネルの表示を、すでに設定してある別の表示に変えた。 例えば、ある2つのチャンネルの表示をそれぞれ08、10と表示を変えます。そのあと08という表示を、すでに設定してある10という表示にしてしまうと、元の10という表示は08に変わってしまい、番組の内容とチャンネルの表示が合わなくなります。	76	
	受信チャンネルの表示をかえたのに、あるチャンネルだけ、表示が変わっていない。	●一度設定した表示の番号を、別のチャンネル表示にも使った。 ●もう一度設定をやり直してください。	76	
	チャンネルが出ない。	●チャンネルを飛ばして設定している。	●飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	74
		●チャンネル設定をしたあとでアンテナをつないだ。	●チャンネル設定をやり直してください。	72
●引越越しなどで放送局が変わった。		●チャンネル設定をやり直してください。	72	

症状	原因	処置	参照ページ
ダビング編集ができない。	●正しく接続されていない。	●接続を確認し、正しく接続してください。	57
	●録画側ビデオで「外部入力」を選んでいる。	●録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。	58
テレビとビデオを接続したら、テレビの映りが悪くなった。	●お好みセレクトで「電源オン時」[TV]を選んでいる。	●「電源オン時」[ビデオ]を選んでください。	51
テレビ画面や音声にノイズが入る。	●テレビのすぐ近くにビデオを設置している。	●ノイズが消える位置でビデオをご使用ください。	64
ビデオの表示窓が誤表示したり、操作ボタンを受け付けない。	●内蔵マイコンが誤動作している。	●リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせ、タイマー予約など必要な調整をし直してください。	—
	 <p>リセットスイッチ</p>		—
テープが走行しても、経過時間表示が動かない。	●テープに何も録画されていない。	●経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	47
ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	—	●OSD表示[オート]を選んでください。	50
画面表示が出ない。	—	●画面表示ボタンを押してください。	46
ビデオの時刻を修正(ジャストクロック)できない。	●ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれている。	●3分以上ずれているときは時刻を自動修正することはできません。	79
	●お好みセレクトで「オート時計設定」[切]を選んでいる。	●「オート時計設定」[入]を選んでください。	51
録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	●お好みセレクトの「再生CMスキップ」を[入]にして、録画したステレオ放送の番組を再生している。	●「再生CMスキップ」[切]を選んでください。	51 28

● 停止状態で約1分たつと多少音がしますが故障ではありません。これは内部のテープ保護メカが動作する音です。

保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みになったあと、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼される時(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(80~83ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 ビデオカセットレコーダー
 形名 V-HF3
 お買い上げ日 年 月 日
 故障の状況 できるだけ具体的に
 ご住所 付近の目印等も併せてお知らせください
 お名前
 電話番号
 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、おおよそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検
 長年ご使用の本機
 の点検を!

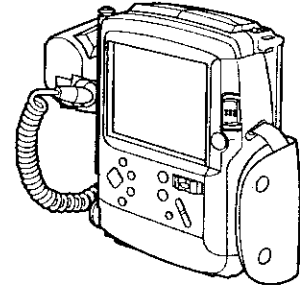
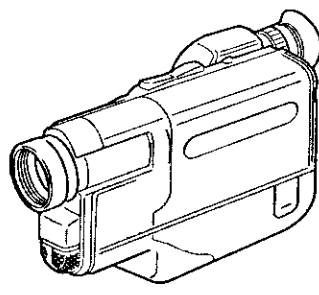
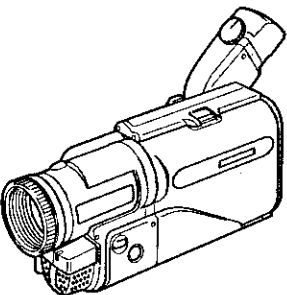
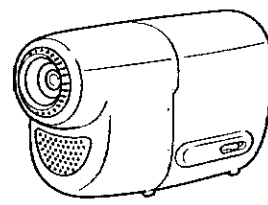
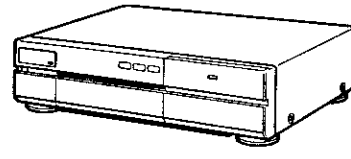
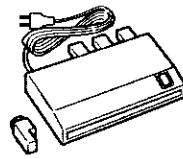
仕様

形名	V-HF3
電源	AC 100V、50/60Hz共用
消費電力	電源「入」時17W、電源「切」時3W
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン VHS方式(NTSC準拠)
使用カセット	VHS タイプビデオカセット
テープ幅	12.7mm
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒
録画再生時間	標準モード 3時間30分(T-210使用時) 3倍モード 10時間30分(T-210使用時)
早送り・巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒・通常巻戻しモード約120秒(T-120使用時)
ヘッド数	6(4:映像用、2:Hi-Fi音声用)
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV 13~63チャンネル
映像入力	1.0Vp-p、75Ω不平衡
映像出力	1.0Vp-p、75Ω不平衡
音声入力	-7.8dBs(316mVrms)、ハイインピーダンス
音声出力	-7.8dBs(316mVrms)、ローインピーダンス
音声トラック	3トラック (Hi-Fi VHS音声2トラック:ステレオ録音/ステレオ再生) (ノーマル音声 1トラック:モノラル録音/モノラル再生)
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ:90 dB以上 周波数特性:20 Hz~20 kHz ワウ・フラッター:0.005%
許容動作温度	5℃~40℃
許容相対湿度	35%~80%以下
外形寸法	(幅)38.0×(高さ)9.3×(奥行)27.1 cm
質量	本体 3.5kg
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM43)..... 1個 同軸ケーブル..... 1本 映像・音声コード..... 1本 単3形乾電池..... 2個

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
 <This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

本機とともにお使いいただける、当社の製品をご紹介します。

<small>ハイエイト</small> 液晶Hi8ビデオカメラ VM-H200L 	<small>ハイエイト</small> Hi8ビデオカメラ VM-H720 	<small>ハイエイト</small> Hi8ビデオカメラ VM-H80 
ミニビデオカメラVK-C32 	カラービデオプリンタ VY-VP20 	ブースター <ul style="list-style-type: none"> ●HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用) ●HVTR-W26A (VHF・UHF兼用) ●HVTR-U26A (UHF専用) 
その他 <ul style="list-style-type: none"> ●マッチングアダプター VT-BF11 086 ●U/V分波器 VT-BF11 096 	ヘッドクリーニングテープ <ul style="list-style-type: none"> ●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CLO1 ●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210 	接続コード <ul style="list-style-type: none"> ●HPU-131AV (映像用) ●HPU-121 (音声用) ●HPU-200AV (映像・音声用)
ビデオカセットテープ VHSテープ <ul style="list-style-type: none"> ●T-160SX ●T-160HG ●T-180HG ●T-120SX ●T-120HG 	カセットアダプタ <ul style="list-style-type: none"> ●TA-3C 	

用語の解説

音声切換(49ページ)

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声切換ボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声切り換わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません(日本語・外国語の両方が録音されます)。

ダビング (57ページ)

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

トラッキング調節 (25ページ)

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出る場合があります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞっていないためにおこります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。オートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切換 (57ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切り換えです。ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切換ボタンで「L1」、「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

ビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル) (69ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。

ビデオ/テレビ切換 (22ページ)

ビデオのVHFアンテナ出力の切り換えです。「ビデオ」にしておくと、映像と音声は1または2チャンネルの放送(ビデオの専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切換ボタンで切り換えます。

ブースター(電波増幅器)(67、86ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(標準/3倍) (21、30ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。
標準：テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときは「標準」で録画することをおすすめします。
3倍：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

Gコード(34ページ)

ジェムスターコードの略です。番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字を入力するだけで開始時刻、終了時刻、チャンネル、録画日が自動的に決まります。各番組の番号は新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

Gコード・インフォ(34ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことで、次のような利点があります。

- ① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられるので、効率がよい。
- ② 録画時間の長さの精度が高いため、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、インフォ プラス Info plus code の略です。IコードはGコードの番号が「0」で始まります。

Gコード予約(35ページ)

ジェムスター社が開発したGコードを使う簡単録画予約システムです。

Hi-Fi サウンド(49ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

OSD表示(46ページ)

OSDとは、オン スクリーン ディスプレイ On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときに現れる動作表示です。

NTSC方式(85ページ)

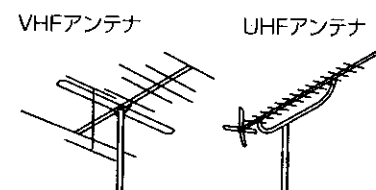
日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

SQP B(25ページ)

S-VHS クワイ プレイ バック Quasi Play Back の略です。S-VHS方式で録画したテープを簡易的に再生できます。ただし、S-VHS本来の高解像度は得られません。また本機でS-VHS録画はできません。S-VHS方式で録画されたテープの場合は、画面にノイズが出る場合があります。

VHFとUHF放送(66ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネルでご覧になれます。それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よくわかります。



※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS(29ページ)

バイエッチ エス インデックス サーチ システム VHS Index Search System の略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

索引の見かた
見出し語と同じ形のもの「～」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

あ・い・う・え・お

アンテナ線 66
一時停止
テープを止めて見る 26
録画を一時停止する 31
映像・音声コード 22
～を使った接続 70
お好みセレクト 50
オーディオ録音 59
オート
録画モード「オート」を選ぶ 36,43
録画モードを「オート」に合わせると 45
オートカット 52,54
オート時計設定 51
オートトラッキング 25
オートリワインド 25,31
オートリワインドシャットオフ 25
音声切換 87
オーディオ録音の音声切換 59
二重音声・ステレオ音声の音声切換 49
録画中の音声切換 31
音量ボタン 20,56

か・き・く・け・こ

画面表示 46
クイックタイマー録画 33
経過時間 47,48
結露 12
ケーブルテレビ 77
誤消去防止 21
混合器 67
～を使ってアンテナ線をつなぐ 66
午前・午後 43,79

さ・し・す・せ・そ

再生
～CMスキップ 28
ある場面を止めて見る 26
画像を見ながら探す 26
テープを見る 24
ゆっくりした速さで見ると 27
CMをとばして見る 28
サーチ再生 26
3倍
3倍モードでの録画時間 21
録画モード「3倍」を選ぶ 30
残量時間 46,47
ジャスト・クロック 79
主音声 49
19ミクロンヘッド 13
受信チャンネル
～の表示を変える 76
～を合わせる 72
スキップ再生 27
ステレオ
～音声を選ぶ 49
～から音声を録音する 59
～放送の録音 31
～をつなぐ 59
スロー再生 27
静止画再生 26

た・ち・つ・て・と

タイマー録画・予約
タイマー録画を途中でやめる 39,41,43
予約内容を確認する 44
予約のしかた 35～43
予約を取り消す 44
ダビング 87
本機を再生側にしてダビングする 58
本機を録画側にしてダビングする 57

チャンネル設定 72
「オートチャンネル設定」 72
「チャンネルの設定/取消」 74,75
「チャンネル表示の設定」 76
CATVのチャンネル設定 77

チャンネル
映りの悪いチャンネルをとばす 74
映るチャンネルを確認する 73
～の選ばれる順序 73
～の表示を変える 76
～を微調節する 75
録画したいチャンネルを選ぶ 30

つめ
～を折る 21
～を折ったテープに録画する 21
～を折ったテープに録画すると 31
～を折ったテープを再生すると 24
～を折ったテープでタイマー予約すると 21,40,43

停止
再生を停止する 24
タイマー録画を停止する 33,37,41,43
録画を停止する 31

テレビ
映像・音声入力端子付き 70
～でチャンネルを選ぶ 32
～をつなぐ 66
～を出す 22
リモコンで～を操作する 56

テレビ音量ボタン 56
テレビコード 56

電源
～オン時[ビデオ]/[TV] 51
～が自動的に入る 24
～を切る 37,39,43

トラッキング 87
～を調節する 25,26

時計
～の合わせかた 78
～を修正する 79
～を表示する 46

同軸ケーブル 13,67
～を使ってテレビをつなぐ 67
分波器に同軸ケーブルを取り付ける 68

な・に・ぬ・ね・の

二重音声
～放送を録画する 31
～を選ぶ 49
入力切換 87
～ボタン 57,59
テレビの入力切換を「ビデオ」にする 71
ノーマルサウンド 49
ノイズ
再生画像にノイズが出る時 25
スロー再生中にノイズが出る時 27
静止画再生中に画像が上下に揺れたとき 26

は・ひ・ふ・へ・ほ

早送り
テープを高速(260倍速)で早送りする 25
テープを早送りする 24
早送りしながら見たい場面を探す 26
ビデオチャンネル 69
ビデオ/テレビ切換 22,87
「ビデオ」表示
～を消す 32
～を出す 22

ビデオヘッド
～の清掃 11
～の磨耗 11
ビデオモード設定 50

標準
標準モードでの録画時間 21
録画モード「標準」を選ぶ 30

副音声 49
ブルーバック 51
ブースター 86
分波器 68,86
～に同軸ケーブルを取り付ける 68
～を使ってテレビをつなぐ 67
ヘッドクリーニングテープ 86
～でヘッドを清掃する 11

ま・み・む・め・も

毎日/毎週
～録画 36
巻戻し
テープを高速(260倍速)で巻戻しする 25
テープを巻戻す 24
巻戻しながら見たい場面を探す 26
メニュー
メニュー画面 44,50
モノラル 49
～ビデオをつなぐ 57,58

や・ゆ・よ

予約
Gコード予約 35
タイマー予約(画面予約) 42
→「タイマー録画・予約」も参照

ら・り・る・れ・ろ

リモコン
～受光部 19
～の電池の入れかた 19
～でビデオ、テレビを操作する 20

録画
クイックタイマー録画 33
見ている番組を録画する 30
タイマー録画 34
～しながら別の番組を見る 32
録画時間 21
録画モード 87
～によるテープの録画時間 21
～を選ぶ 30,41,43

A・B・C

BS放送を録画する 62
BSチューナー内蔵テレビ 60
BSチューナー 61
CATVをご使用のとき 77
Err 45
FULL 45
Gコード 34,88
Gコード・インフォ 88
～予約 35,40
～を入力する 35,40
Hi-Fiサウンド 88
～を選ぶ 49
OSD表示 51
SQPB 25,88
VISS 89
～機能を使う 29
VHF/UHF放送 66,89